

令和2年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

令和2年10月

大仙市 企画部 総合政策課

目次

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回収率	4
2.3 回答者の属性	4
2.4 満足度及び重要度	6
2.4.1 満足の度合い	6
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	8
2.4.3 満足度における属性別比較	9
2.4.4 重要の度合い	13
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	15
2.4.6 重要度における属性別比較	16
2.4.7 項目別要望度	20
2.4.8 満足度、重要度の総括	22
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	23
2.5 さらに推進すべき取り組み	25

2.5.1	産業分野に関する設問について	25
2.5.2	出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	28
2.5.3	健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	31
2.5.4	環境安全分野に関する設問について	34
2.5.5	都市基盤分野に関する設問について	37
2.5.6	教育・交流分野に関する設問について	40
2.5.7	地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	43
2.5.8	さらに推進すべき取り組みの総括	46
2.6	あなたが思う大仙市について	49
2.6.1	市内在住の経緯に関する設問について	49
2.6.2	「住みやすさ」に関する設問について	51
2.6.3	社会活動・地域活動に関する設問について	56
2.6.4	未来のまちの姿に関する設問について	58
2.7	経年比較	59
3	市民による個別事業評価	
3.1	市民全体を調査対象とした個別事業評価	73
3.1.1	成人式について	73
3.1.2	自殺対策啓発事業について	79
3.1.3	花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について	91
3.1.4	なかせん千本桜プロジェクトについて	104
3.2	制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価	116
3.2.1	地域子育て支援拠点事業について	116
3.2.2	結婚・出産・子育てについて	141
4	自由意見	180
5	資料	

令和2年度「市民による市政評価」調査票

令和2年度「市民による個別事業評価」【地域子育て支援拠点事業】調査票

令和2年度「市民による個別事業評価」【結婚・出産・子育て】調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成18年度から継続的に実施している。

平成28年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施し、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

個別事業評価については、広く市民の皆さんを対象とする調査と、制度の利用者など特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施している。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」、「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- ◆満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- ◆重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか）
- ◆今後さらに推進すべき取り組み
- ◆あなたが思う大仙市について

(2) 市民による個別事業評価

施策に基づき市が実施している事業の認知度、利用度、意識等の把握や、個別具体の施策を推進するための市民ニーズや意識を把握するため、次のテーマについて調査した。

分類A：市民全体（年代・性別を問わない）を対象とする調査 4テーマ

分類B：制度の利用者など特定の層を対象とする調査 2テーマ

No.	分類	事業名
1	A	成人式について
2	A	自殺対策啓発事業について
3	A	花火伝統文化継承資料館（はなび・アム）について
4	A	なかせん千本桜プロジェクトについて
5	B	地域子育て支援拠点事業について
6	B	結婚・出産・子育てについて

1.3 調査の手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

1.4 調査票

本調査は、次の3種類の調査票により、それぞれの対象者に対して実施した。

- ◆令和2年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価」の分類Aの4事業を含む）
- ◆令和2年度「市民による個別事業評価」 「地域子育て支援拠点事業」
- ◆令和2年度「市民による個別事業評価」 「結婚・出産・子育て」

1.5 調査期間

令和2年4月23日（木）～5月18日（月）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 本調査では、各調査の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の調査項目においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、各設問により母数となる回答数「n」は異なっている。
- 各区分における集計では不明者を除いているため、区分ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しないことがある。
- 市政評価での満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他設問での構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

18歳以上、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

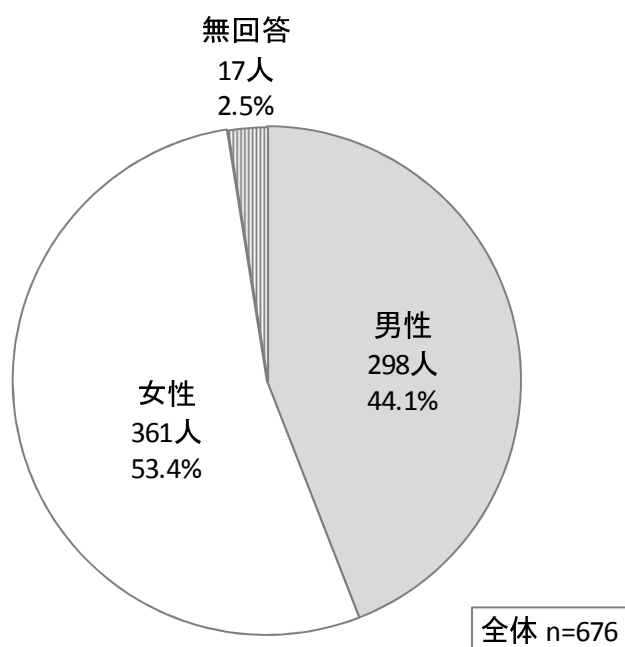
2.2 回収率

回収数・・・676

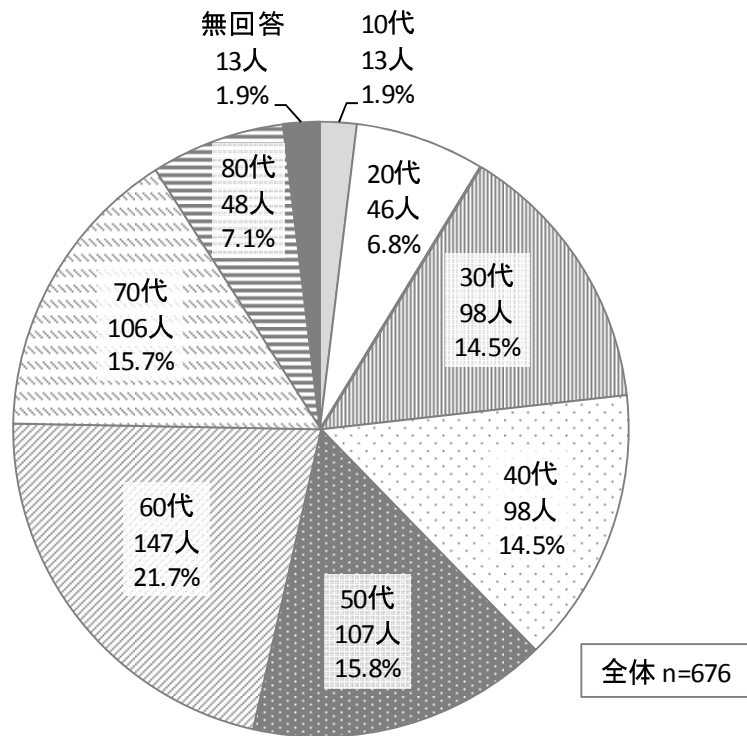
回収率・・・67.6%

2.3 回答者の属性

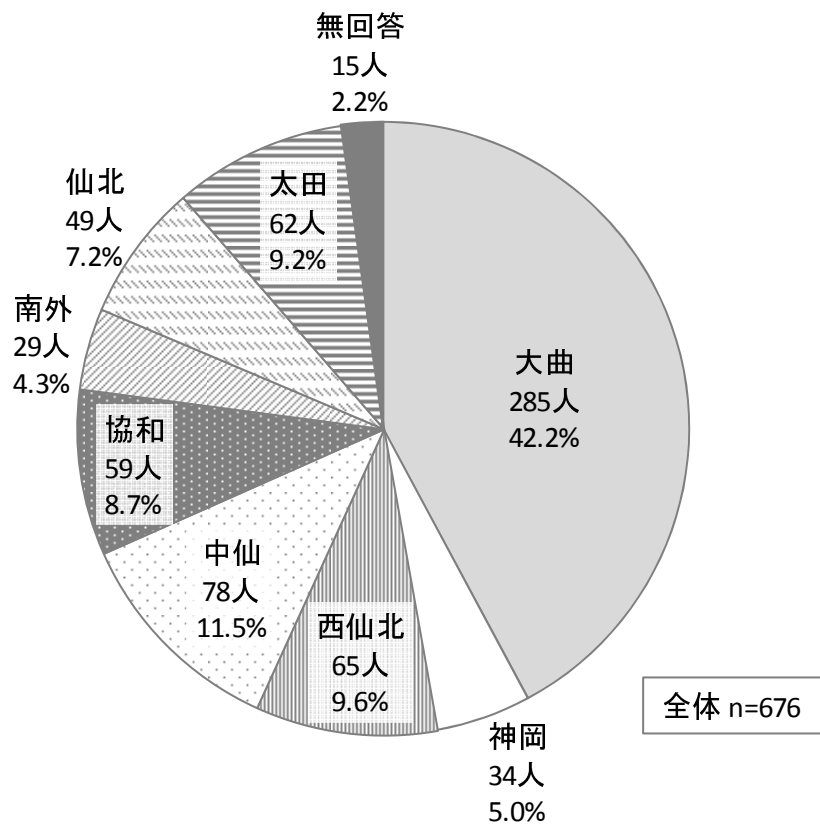
図表1 回答者の性別の内訳



図表2 回答者の年齢の内訳



図表3 回答者の居住地の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.64（昨年度3.57）、「安全・安心体制」が3.63（昨年度3.44）、「自然・環境衛生」が3.59（昨年度3.48）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「空き家対策」が2.88（昨年度2.82）、「商工業」が2.91（昨年度2.83）、「雇用・就労」が2.93（昨年度2.84）の順となっている。

昨年度と比較すると、「上昇」あるいは「やや上昇」となった項目が29項目中24項目と多く、全体的に満足度が増加している。これは、多くの項目で「まあ満足」の回答率が増加し、「やや不満」の回答率が減少したことによるものと考えられる。

昨年度と比較して満足度の増加が大きかった（前年比0.15ポイント以上増）のは、満足度3.63で2位の「安全・安心体制」（前回より0.19ポイント増）、満足度3.25で17位の「道路・河川」（前回より0.15ポイント増）、満足度3.13で23位の「行財政運営」（前回より0.15ポイント増）となっている。満足度の減少が大きかった（前年比0.15ポイント以上減）項目はないが、満足度3.50で7位の「花火産業構想」（前回より0.04ポイント減）のみ微減となっている。

図表 4 満足度（点数順）

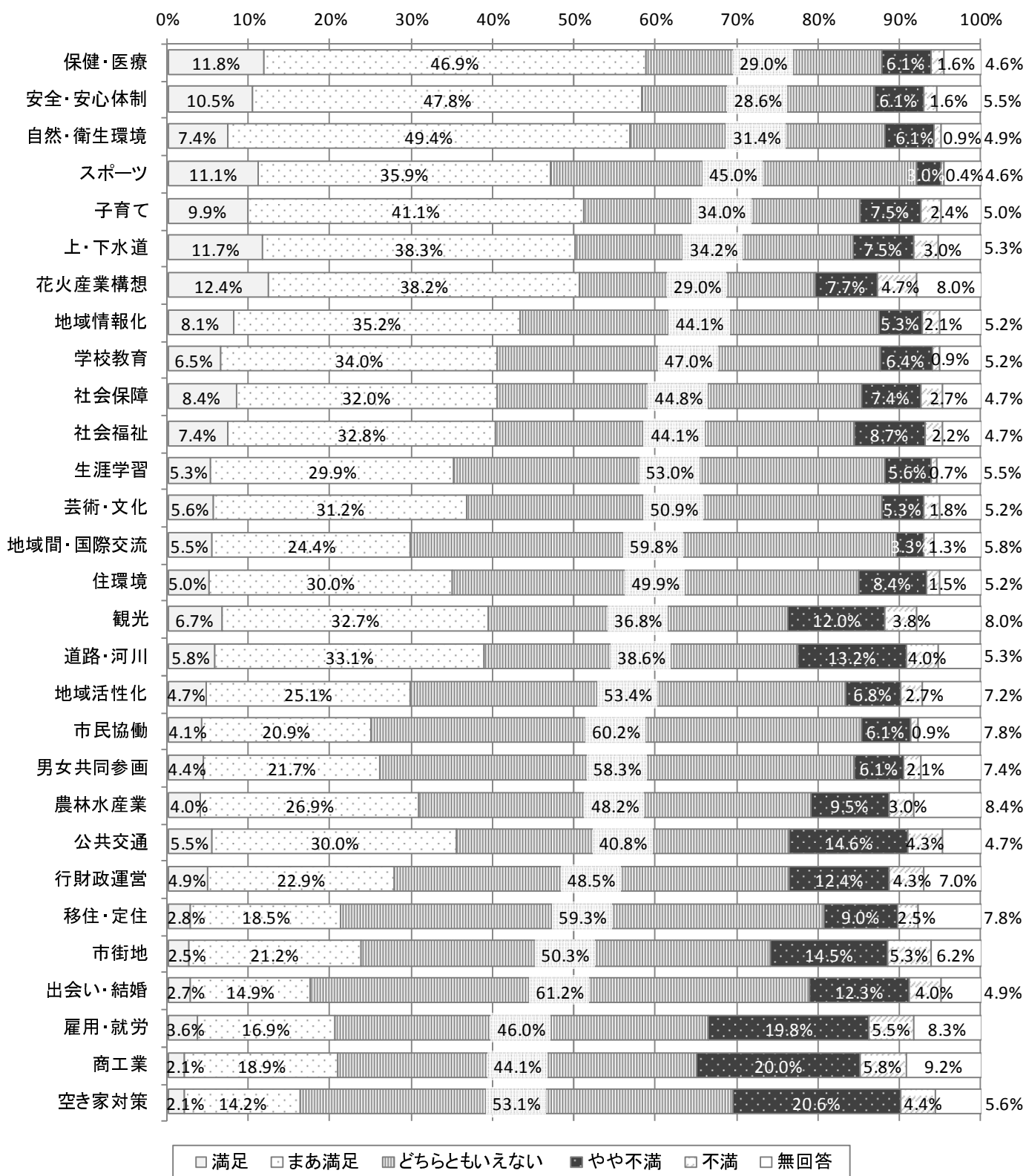
順位	R2	R1	項目	満足度 ※			
					R2	R1	増減 (R2-R1)
1	1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↖	3.64	3.57	0.07
2	6	6	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↑	3.63	3.44	0.19
3	3	3	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↖	3.59	3.48	0.11
4	3	3	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↖	3.57	3.48	0.09
5	5	5	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	←	3.51	3.47	0.04
5	7	7	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↖	3.51	3.41	0.10
7	2	2	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	3.50	3.54	▲0.04
8	8	8	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↖	3.44	3.35	0.09
9	10	10	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	↖	3.41	3.33	0.08
10	11	11	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↖	3.38	3.27	0.11
11	12	12	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↖	3.36	3.26	0.10
12	12	12	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	↖	3.35	3.26	0.09
12	9	9	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.35	3.34	0.01
14	14	14	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	↖	3.31	3.25	0.06
15	16	16	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↖	3.30	3.18	0.12
16	14	14	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	←	3.29	3.25	0.04
17	22	22	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↑	3.25	3.10	0.15
18	20	20	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↖	3.24	3.12	0.12
19	17	17	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↖	3.23	3.16	0.07
20	21	21	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	↖	3.22	3.11	0.11
21	18	18	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↖	3.21	3.15	0.06
22	19	19	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↖	3.19	3.13	0.06
23	24	24	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	↑	3.13	2.98	0.15
24	23	23	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	3.11	3.06	0.05
25	26	26	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	↖	3.01	2.92	0.09
26	25	25	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↖	3.00	2.93	0.07
27	27	27	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↖	2.93	2.84	0.09
28	28	28	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↖	2.91	2.83	0.08
29	29	29	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↖	2.88	2.82	0.06

※満足度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↗	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表5 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、全般的に女性の満足度の方が高い。男女とも多少の上下はあるものの、項目の順序は概ね同様の傾向となっている。男性の上位5位に挙げられている項目は全体の上位5位に挙げられている項目と同じだが、女性は「スポーツ」が上位5位から外れており（同順6位）、同順4位に「花火産業構想」が挙げられている。全体で4位となっている「スポーツ」は、男性では1位となっている。

下位項目については、男女とも全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、30代以上の年代で「保健・医療」が挙げられており、年代が上がるにつれて順位も上がっている。また、全年代で「安全・安心体制」、30代から60代までは「スポーツ」が挙げられている。また、20代では「地域情報化」も挙げられている。

下位項目については、全年代において「空き家対策」、「商工業」、「出会い・結婚」が挙げられており、10代以外の年代で「雇用・就労」、80代以外の年代で「市街地」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全地域で「保健・医療」、神岡地域以外の地域で「安全・安心体制」、西仙北地域以外の地域で「自然・衛生環境」が挙げられている。

下位項目については、全地域において「空き家対策」、南外地域以外の地域で「商工業」が挙げられている。また、協和地域では「公共交通」も挙げられている。

図表6 性別による満足度

■男性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	スポーツ	3.58	25	市街地	3.02
	保健・医療	3.58	26	出会い・結婚	2.94
3	安全・安心体制	3.56	27	雇用・就労	2.88
4	自然・衛生環境	3.54	28	商工業	2.83
5	子育て	3.46	29	空き家対策	2.80

■女性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.69	25	出会い・結婚	3.05
2	安全・安心体制	3.68	26	市街地	3.00
3	自然・衛生環境	3.63	27	商工業	2.97
	子育て	3.56	28	雇用・就労	2.95
4	花火産業構想	3.56	29	空き家対策	2.94

図表7 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	4.38
	芸術・文化	4.38
3	安全・安心体制	4.31
	上・下水道	4.31
	生涯学習	4.31

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.69
	商工業	3.69
	空き家対策	3.69
28	出会い・結婚	3.62
29	公共交通	3.38

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.71
2	安全・安心体制	3.69
3	自然・衛生環境	3.62
4	上・下水道	3.61
5	地域情報化	3.56

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.07
26	市街地	3.04
27	雇用・就労	2.98
28	商工業	2.91
29	空き家対策	2.87

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.63
2	自然・衛生環境	3.59
3	スポーツ	3.58
4	子育て	3.57
5	保健・医療	3.49

(下位)

順位	項目	満足度
24	出会い・結婚	2.96
	行財政運営	2.96
26	市街地	2.79
27	雇用・就労	2.74
28	商工業	2.72
29	空き家対策	2.70

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	スポーツ	3.64
2	安全・安心体制	3.63
3	自然・衛生環境	3.60
	保健・医療	3.60
	花火産業構想	3.60

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.01
26	市街地	3.00
27	空き家対策	2.94
28	雇用・就労	2.92
29	商工業	2.84

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.60
2	保健・医療	3.47
3	安全・安心体制	3.42
4	スポーツ	3.39
5	花火産業構想	3.38

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.95
26	市街地	2.88
27	空き家対策	2.86
28	商工業	2.80
29	雇用・就労	2.72

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.72
2	安全・安心体制	3.65
	スポーツ	3.65
4	上・下水道	3.49
	子育て	3.49

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.04
26	出会い・結婚	2.92
27	雇用・就労	2.90
28	商工業	2.89
29	空き家対策	2.82

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.81
2	上・下水道	3.69
3	子育て	3.64
4	自然・衛生環境	3.63
5	安全・安心体制	3.61
	花火産業構想	3.61

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.07
	商工業	3.07
27	出会い・結婚	3.04
28	雇用・就労	3.02
29	空き家対策	2.92

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.98
2	上・下水道	3.95
3	安全・安心体制	3.81
4	自然・衛生環境	3.73
5	社会福祉	3.71

(下位)

順位	項目	満足度
25	雇用・就労	3.32
26	商工業	3.24
	移住・定住	3.24
28	出会い・結婚	3.15
29	空き家対策	3.05

図表 8 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.72
2	保健・医療	3.71
3	自然・衛生環境	3.61
4	スポーツ	3.60
	花火産業構想	3.60

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.08
26	市街地	2.99
27	商工業	2.93
	雇用・就労	2.93
29	空き家対策	2.84

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.94
2	保健・医療	3.77
	子育て	3.77
4	スポーツ	3.71
5	自然・衛生環境	3.65

(下位)

順位	項目	満足度
24	行財政運営	3.06
	移住・定住	3.06
26	商工業	3.03
27	空き家対策	2.97
	市街地	2.97
29	雇用・就労	2.94

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.73
2	上・下水道	3.58
3	安全・安心体制	3.57
4	花火産業構想	3.55
5	スポーツ	3.53

(下位)

順位	項目	満足度
25	男女共同参画	3.02
26	出会い・結婚	2.97
27	空き家対策	2.88
28	商工業	2.80
29	雇用・就労	2.76

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.58
2	スポーツ	3.56
3	保健・医療	3.49
4	安全・安心体制	3.48
5	生涯学習	3.39

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.96
26	空き家対策	2.91
27	雇用・就労	2.82
28	出会い・結婚	2.80
29	商工業	2.77

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.75
2	保健・医療	3.65
3	スポーツ	3.63
4	自然・衛生環境	3.60
	安全・安心体制	3.60

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.96
	市街地	2.96
27	空き家対策	2.87
28	商工業	2.85
29	出会い・結婚	2.83

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.71
2	社会保障	3.63
3	保健・医療	3.61
	安全・安心体制	3.61
	スポーツ	3.57
5	自然・衛生環境	3.57
	子育て	3.57
	花火産業構想	3.57

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	3.11
	市街地	3.11
27	雇用・就労	3.07
28	移住・定住	3.04
	空き家対策	3.04

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.53
2	自然・衛生環境	3.52
3	上・下水道	3.45
	安全・安心体制	3.43
4	保健・医療	3.43
	学校教育	3.43

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.02
26	出会い・結婚	3.00
27	空き家対策	2.80
28	商工業	2.78
	雇用・就労	2.78

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.71
2	自然・衛生環境	3.68
3	保健・医療	3.55
4	子育て	3.52
5	上・下水道	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	3.04
	行財政運営	3.04
27	出会い・結婚	2.98
28	市街地	2.97
29	空き家対策	2.96

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が4.40（昨年度4.38）、「子育て」が4.38（昨年度4.35）、「安全・安心体制」が4.32（昨年度4.26）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.42（昨年度3.34）、「スポーツ」が3.52（昨年度3.52）、「芸術・文化」が3.59（昨年度3.51）の順となっている。

昨年度と比較すると、全体的に重要度が増加しており、増加が大きかった（前年比0.15ポイント以上増）のは、重要度4.20で8位の「農林水産業」（前回より0.18ポイント増）となっている。重要度の減少が大きかった（前年比0.15ポイント以上減）項目はないが、重要度3.75で22位の「観光」（前回より0.11ポイント減）、重要度3.64で25位の「花火産業構想」（前回より0.06ポイント減）のみ微減となっている。

図表 9 重要度（点数順）

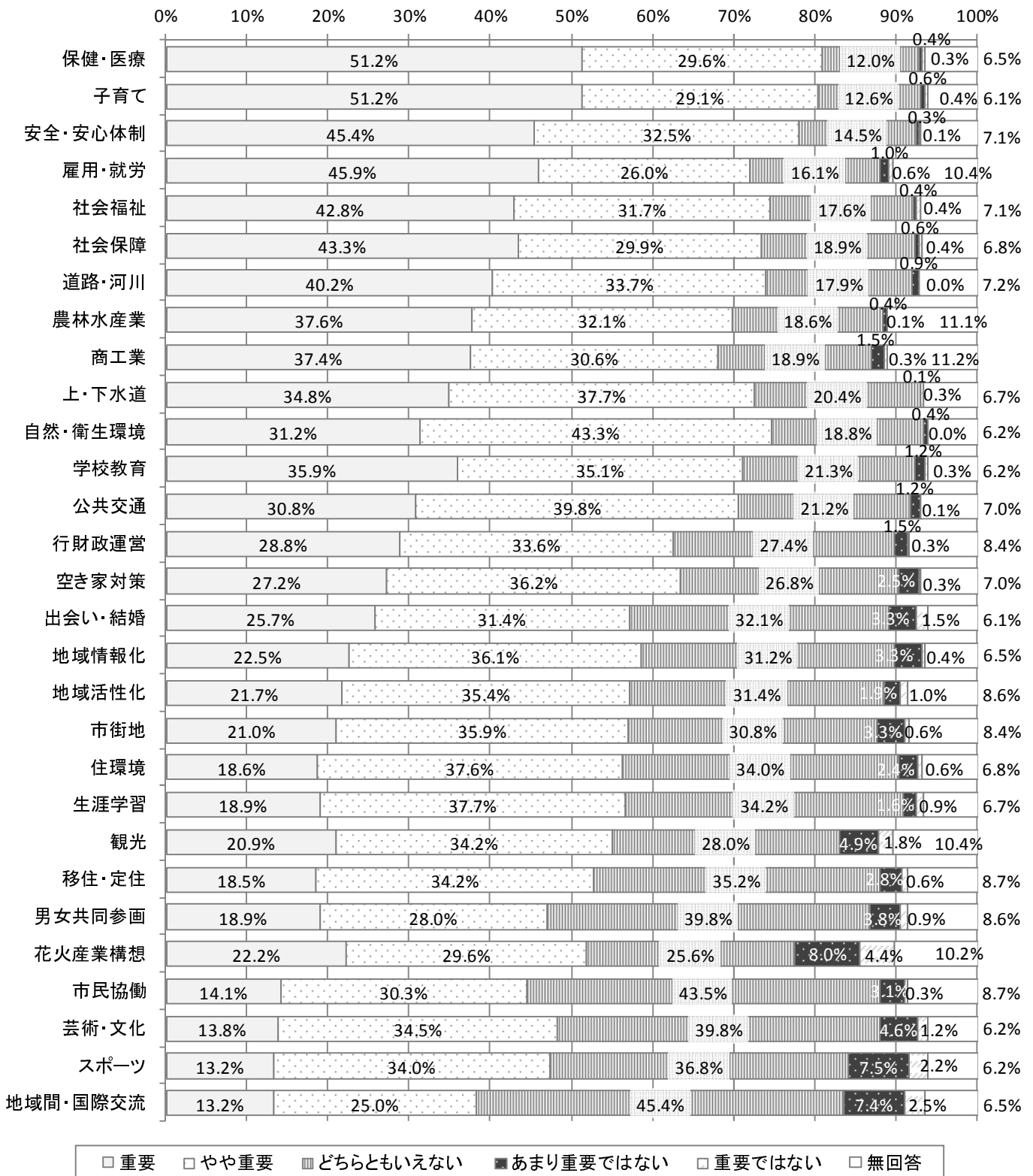
順位		項目	重要度 ※			
R2	R1			R2	R1	増減 (R2-R1)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	4.40	4.38	0.02
2	2	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	←	4.38	4.35	0.03
3	4	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↔	4.32	4.26	0.06
4	3	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	←	4.29	4.27	0.02
5	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	4.25	4.25	0.00
6	7	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↔	4.23	4.10	0.13
7	6	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↔	4.22	4.13	0.09
8	11	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↑	4.20	4.02	0.18
9	10	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↔	4.17	4.03	0.14
10	8	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↔	4.14	4.04	0.10
11	8	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↔	4.12	4.04	0.08
11	11	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	↔	4.12	4.02	0.10
13	11	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↔	4.07	4.02	0.05
14	14	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	↔	3.97	3.88	0.09
15	16	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↔	3.94	3.83	0.11
16	19	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝い、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↔	3.82	3.73	0.09
16	17	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↔	3.82	3.74	0.08
16	17	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↔	3.82	3.74	0.08
19	20	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	↔	3.80	3.72	0.08
20	23	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↔	3.77	3.69	0.08
20	21	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	↔	3.77	3.71	0.06
22	15	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↔	3.75	3.86	▲ 0.11
23	24	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↔	3.74	3.66	0.08
24	25	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	↔	3.66	3.59	0.07
25	22	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↔	3.64	3.70	▲ 0.06
26	26	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↔	3.60	3.53	0.07
27	28	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↔	3.59	3.51	0.08
28	27	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	3.52	3.52	0.00
29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	↔	3.42	3.34	0.08

※重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↙	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 10 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、男女とも多少の上下はあるものの、項目の順序は概ね同様の傾向となっている。上位項目については、男性では、全体の上位5位に挙げられていない「農林水産業」が5位となっており、女性でも同様に「社会保障」が5位となっている。

下位項目については、男性は全体の項目と同じだが、女性では、全体の下位5位に挙げられていない「男女共同参画」が同順26位となっている。

年代別で見ると、上位項目については、全年代で「安全・安心体制」が挙がっており、10代以外の年代で「保健・医療」、80代以外の年代で「子育て」が挙がっている。また、30代では「学校教育」、40代では「商工業」、60代から80代までの年代では「道路・河川」も挙げられている。

下位項目については、全年代で「スポーツ」、80代以外の年代で「地域間・国際交流」が挙げられている。また、10代から30代までは「出会い・結婚」、40代と60代以上の年代では「花火産業構想」も挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全地域で「保健・医療」、「子育て」が挙がっており、西仙北地域では「道路・河川」、協和地域では「上・下水道」、南外地域では「公共交通」も挙げられている。

下位項目については、全地域で「地域間・国際交流」、協和地域以外の地域で「スポーツ」が挙げられている。また、協和地域では「住環境」、南外地域では「出会い・結婚」も挙げられている。

図表 11 性別による重要度

■男性 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	子育て	4.38			
2	保健・医療	4.36	25	花火産業構想	3.49
3	安全・安心体制	4.32		市民協働	3.49
4	雇用・就労	4.31	27	スポーツ	3.45
5	農林水産業	4.22	28	芸術・文化	3.44
			29	地域間・国際交流	3.33

■女性 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.44	25	芸術・文化	3.70
2	子育て	4.39	26	男女共同参画	3.68
3	安全・安心体制	4.32		市民協働	3.68
4	社会福祉	4.28	28	スポーツ	3.57
5	社会保障	4.27	29	地域間・国際交流	3.49

図表 12 年代による重要度

■10代 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.85
2	子育て	4.77
3	社会福祉	4.69
	社会保障	4.69
	雇用・就労	4.69
	行財政運営	4.69

(下位)

順位	項目	重要度
20	公共交通	4.46
	生涯学習	4.46
	地域活性化	4.46
	移住・定住	4.46
	男女共同参画	4.46
	市民協働	4.46
26	出会い・結婚	4.31
	芸術・文化	4.31
	地域間・国際交流	4.31
29	スポーツ	4.23

■20代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.49
2	安全・安心体制	4.47
3	子育て	4.42
4	社会保障	4.40
5	社会福祉	4.36

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.78
26	芸術・文化	3.73
27	出会い・結婚	3.71
	地域間・国際交流	3.71
29	スポーツ	3.53

■30代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.64
2	保健・医療	4.46
3	雇用・就労	4.29
4	学校教育	4.27
5	安全・安心体制	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
24	男女共同参画	3.75
	出会い・結婚	3.75
26	芸術・文化	3.66
27	市民協働	3.60
28	スポーツ	3.54
29	地域間・国際交流	3.34

■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.45
2	雇用・就労	4.43
3	保健・医療	4.40
4	安全・安心体制	4.34
5	商工業	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.54
26	市民協働	3.48
27	芸術・文化	3.46
28	スポーツ	3.41
29	地域間・国際交流	3.27

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.42
2	保健・医療	4.40
3	安全・安心体制	4.37
4	子育て	4.28
	社会福祉	4.28

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.50
	市民協働	3.50
27	スポーツ	3.44
28	芸術・文化	3.43
29	地域間・国際交流	3.28

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.35
2	保健・医療	4.30
3	安全・安心体制	4.24
4	雇用・就労	4.23
5	道路・河川	4.21

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.53
	市民協働	3.53
27	スポーツ	3.50
28	花火産業構想	3.48
29	地域間・国際交流	3.33

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.49
2	道路・河川	4.33
3	安全・安心体制	4.31
4	上・下水道	4.27
5	子育て	4.26
	社会保障	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
25	移住・定住	3.65
26	男女共同参画	3.64
27	花火産業構想	3.62
28	スポーツ	3.58
29	地域間・国際交流	3.55

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	上・下水道	4.36
2	社会福祉	4.27
	安全・安心体制	4.27
4	道路・河川	4.26
	保健・医療	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.59
26	スポーツ	3.56
27	芸術・文化	3.55
28	観光	3.50
29	花火産業構想	3.27

図表 13 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.51
2	保健・医療	4.48
3	安全・安心体制	4.40
4	雇用・就労	4.38
5	社会福祉	4.36

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.77
26	市民協働	3.69
27	芸術・文化	3.59
28	スポーツ	3.56
29	地域間・国際交流	3.51

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.52
2	安全・安心体制	4.48
3	子育て	4.45
4	社会福祉	4.42
5	雇用・就労	4.39
	社会保障	4.39

(下位)

順位	項目	重要度
25	観光	3.74
26	スポーツ	3.71
27	男女共同参画	3.68
28	花火産業構想	3.61
29	地域間・国際交流	3.42

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.35
2	道路・河川	4.33
3	安全・安心体制	4.30
4	社会保障	4.27
5	雇用・就労 子育て	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
25	観光	3.67
26	市民協働	3.64
27	スポーツ	3.53
28	花火産業構想	3.49
29	地域間・国際交流	3.38

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.39
2	保健・医療	4.34
3	安全・安心体制	4.18
4	自然・衛生環境 社会福祉	4.09

(下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.49
26	スポーツ	3.45
27	市民協働	3.42
28	地域間・国際交流	3.31
29	花火産業構想	3.21

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.41
2	安全・安心体制	4.28
3	子育て	4.24
4	社会保障	4.23
5	上・下水道	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.57
26	芸術・文化	3.56
27	市街地	3.54
28	男女共同参画	3.46
29	地域間・国際交流	3.40

■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.29
2	社会保障 公共交通	4.18
4	保健・医療 農林水産業	4.14

(下位)

順位	項目	重要度
24	出会い・結婚 花火産業構想	3.43
26	市民協働	3.32
27	スポーツ	3.29
28	男女共同参画 地域間・国際交流	3.25

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.52
2	保健・医療	4.36
3	商工業	4.30
4	子育て	4.26
5	農林水産業	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.52
26	男女共同参画	3.47
27	市民協働	3.30
28	スポーツ	3.26
29	地域間・国際交流	3.15

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療 安全・安心体制	4.26
3	社会保障 農林水産業	4.22
5	子育て	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
25	観光	3.52
26	スポーツ	3.50
27	芸術・文化	3.43
28	地域間・国際交流	3.40
29	花火産業構想	3.38

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.36（昨年度1.43）、「商工業」が1.26（昨年度1.20）、「空き家対策」が1.06（昨年度1.01）の順となっており、昨年度と1位、2位は変わらなかった。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が-0.05（昨年度0.04）、「地域間・国際交流」が0.11（昨年度0.09）、「花火産業構想」が0.14（昨年度0.16）の順となっており、22位以下の順位は昨年度と変わらなかった。

昨年度と比較すると、満足度と重要度のどちらも全体的に増加したことから、要望度に大きな変化は見られなかった。

その中でも、昨年度と比較して変化が大きかった項目は、要望度0.99の「農林水産業」（昨年度0.87、9位）が4位に大きく順位を上げた。また、要望度0.46の「観光」（昨年度0.61、18位）は昨年度より0.15ポイント大きく減少したが、順位は21位で大きな変化はなかった。

図表 14 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位	R2	R1	項目	要望度 ※			
					R2	R1	増減 (R2-R1)
1	1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↕	1.36	1.43	▲ 0.07
2	2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↔	1.26	1.20	0.06
3	4	4	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↔	1.06	1.01	0.05
4	9	9	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↔	0.99	0.87	0.12
5	3	3	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↕	0.97	1.03	▲ 0.06
6	5	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↕	0.89	0.99	▲ 0.10
7	7	7	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	←	0.88	0.89	▲ 0.01
8	8	8	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	←	0.87	0.88	▲ 0.01
9	10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	←	0.85	0.83	0.02
10	6	6	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	↕	0.84	0.90	▲ 0.06
11	13	13	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	←	0.82	0.80	0.02
12	13	13	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	0.79	0.80	▲ 0.01
13	12	12	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↕	0.76	0.81	▲ 0.05
14	15	15	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	0.71	0.69	0.02
15	11	11	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↕	0.69	0.82	▲ 0.13
16	16	16	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	0.63	0.63	0.00
16	19	19	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	0.63	0.60	0.03
18	17	17	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	←	0.58	0.62	▲ 0.04
19	20	20	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	←	0.53	0.56	▲ 0.03
20	21	21	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	0.47	0.51	▲ 0.04
21	18	18	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↓	0.46	0.61	▲ 0.15
22	22	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	0.44	0.48	▲ 0.04
23	23	23	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	0.42	0.45	▲ 0.03
24	24	24	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	←	0.38	0.39	▲ 0.01
25	25	25	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	0.37	0.37	0.00
26	26	26	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↔	0.24	0.17	0.07
27	27	27	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	0.14	0.16	▲ 0.02
28	28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	0.11	0.09	0.02
29	29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↕	-0.05	0.04	▲ 0.09

※要望度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	↔	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

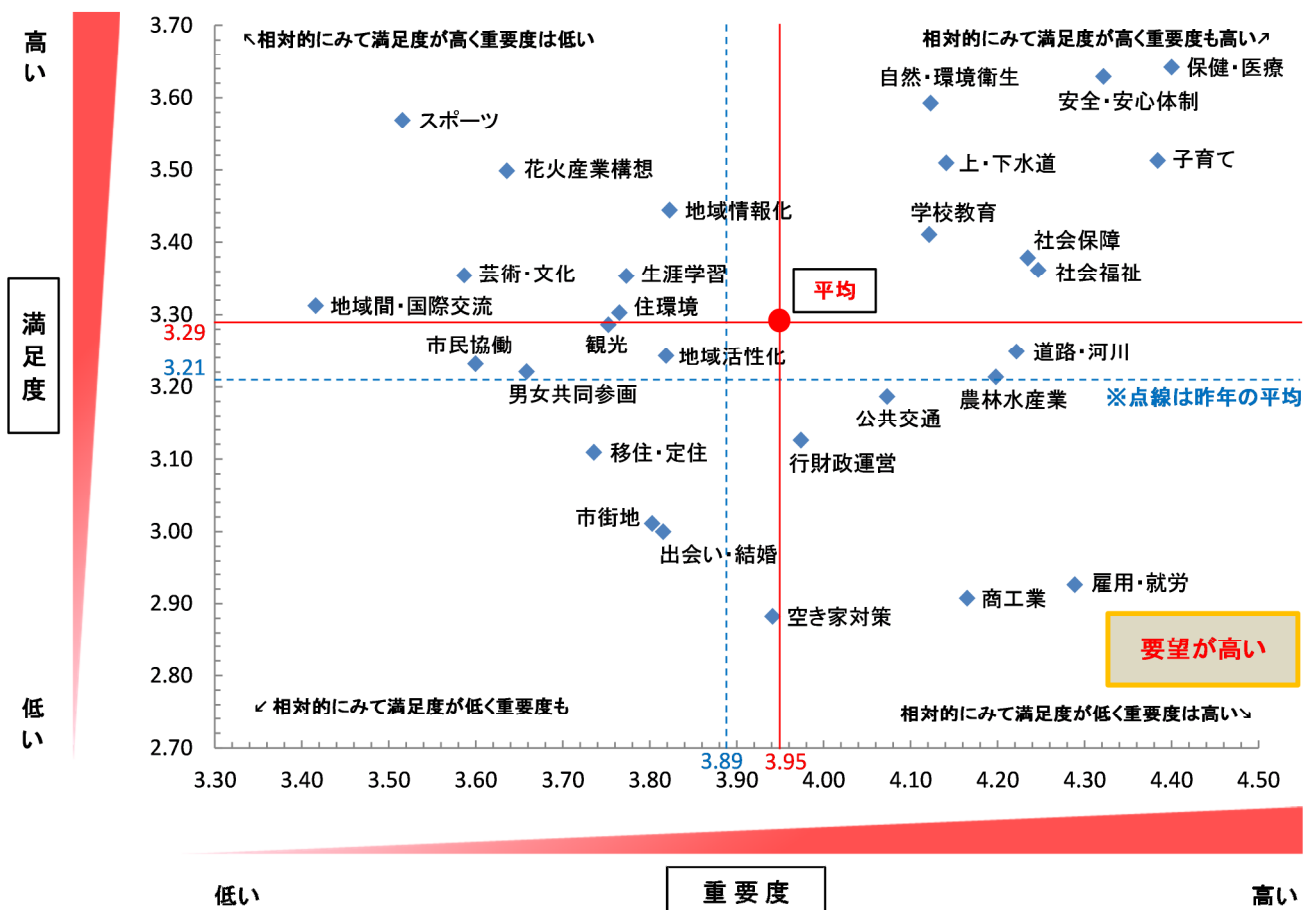
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望の高さを示した散布図を作成した。図表15は、29項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど重要度が高く満足度も高い項目となり、逆に図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目となっている。重要度が高く満足度が低い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望が高い項目となっている。

今回の満足度、要望度の結果から相対的に要望が高い項目は、「雇用・就労」、「商工業」となっている。

図表 15 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

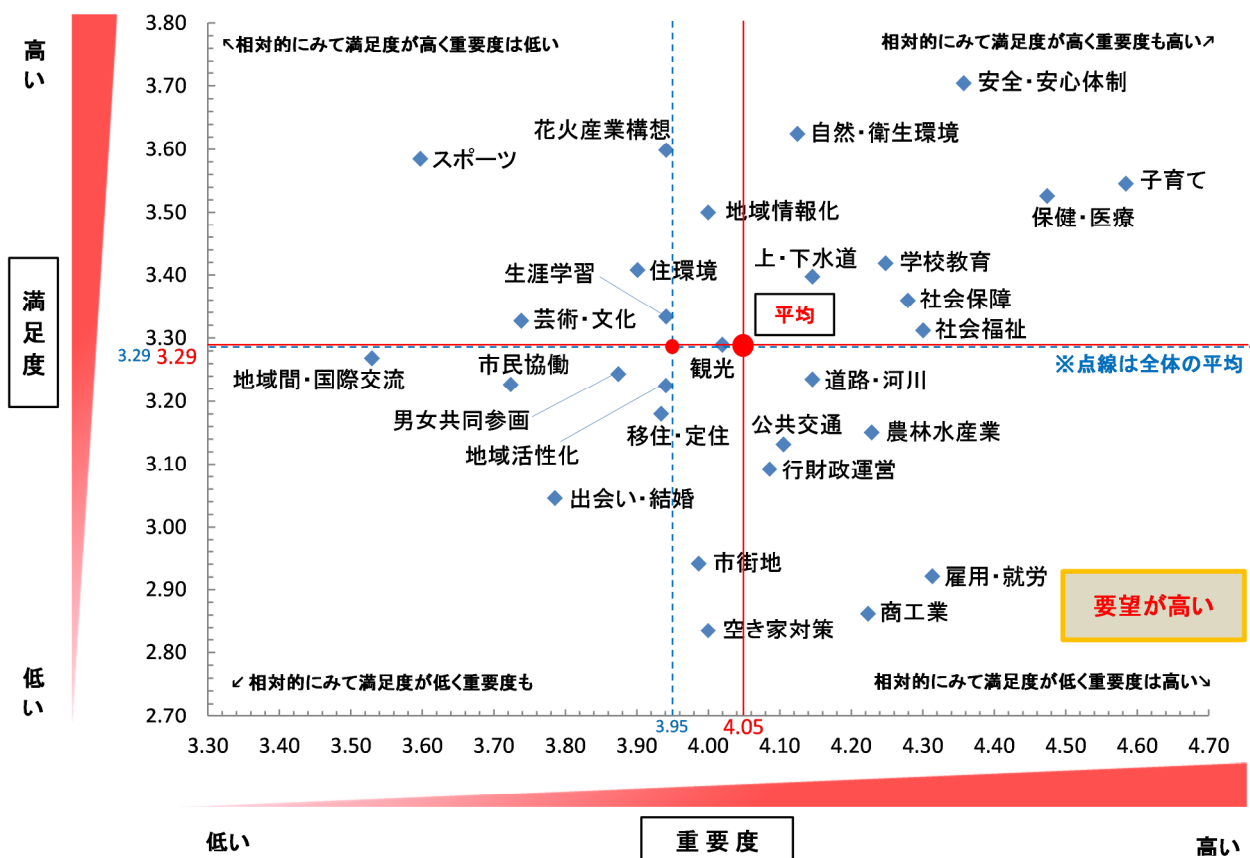
満足度を縦軸、重要度を横軸として各項目の要望の高さを示した散布図について、18歳から39歳まで(図表16)、40歳から64歳まで(図表17)、65歳以上(図表18)の3つの年齢層別で作成した。

18歳から39歳までの年齢層では、全般的に重要度が高くなっている。他の年齢層と比較すると、散布図右上の「相対的にみて満足度が高く重要度が高い」にあたる位置に分布する項目が少ない。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「商工業」となっている。

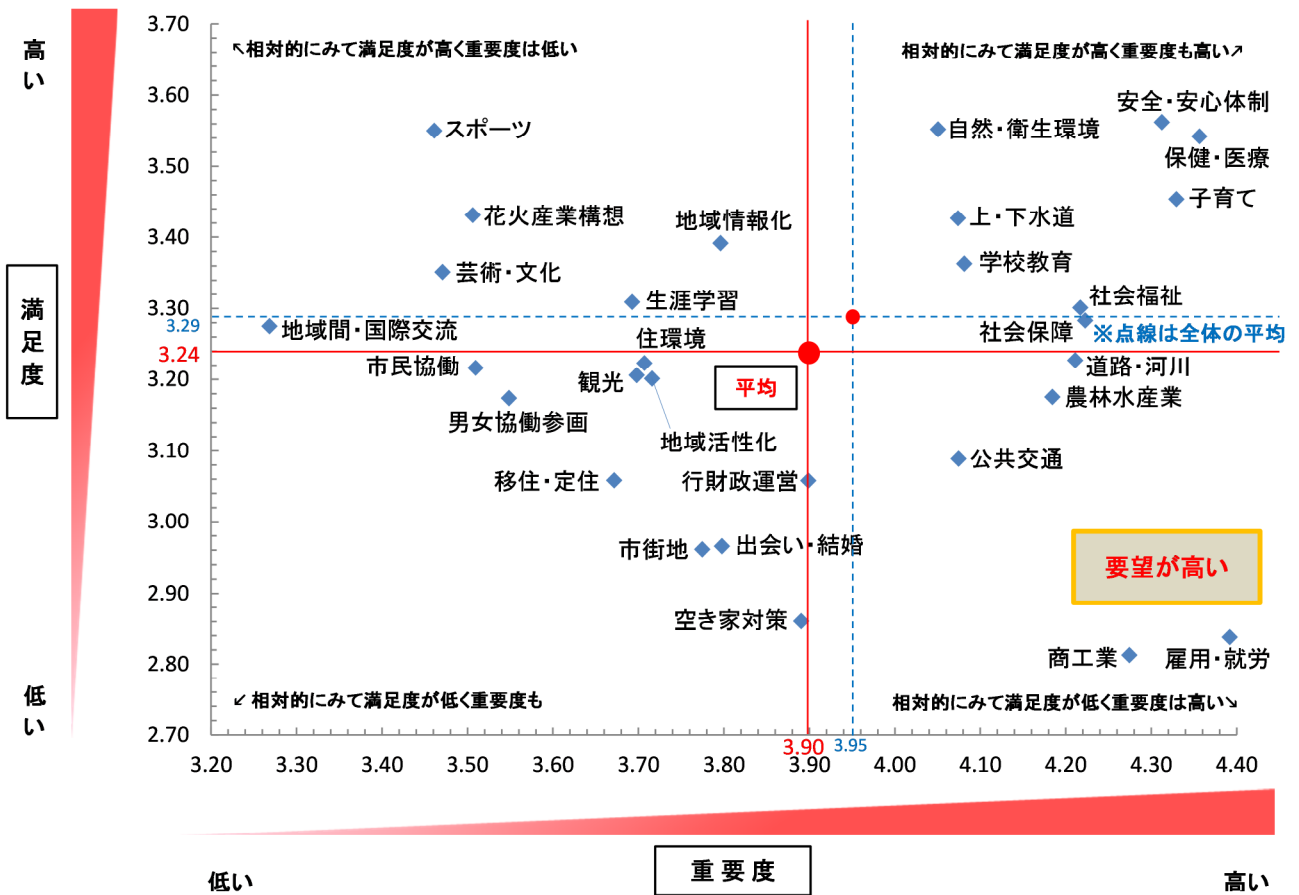
40歳から64歳までの年齢層では、全般的に満足度、重要度が低くなっている。散布図左下の「相対的にみて満足度が低く重要度も低い」にあたる位置に分布する項目が多い。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「商工業」となっている。

65歳以上の年齢層では、全般的に満足度が高くなっている。「保健・医療」の重要度は全体及び各年齢層と大きな差はないが(重要度:全体4.40、65歳以上4.40)、満足度は非常に高い(満足度:全体3.64、65歳以上3.84)。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「空き家対策」、「道路・河川」となっている。

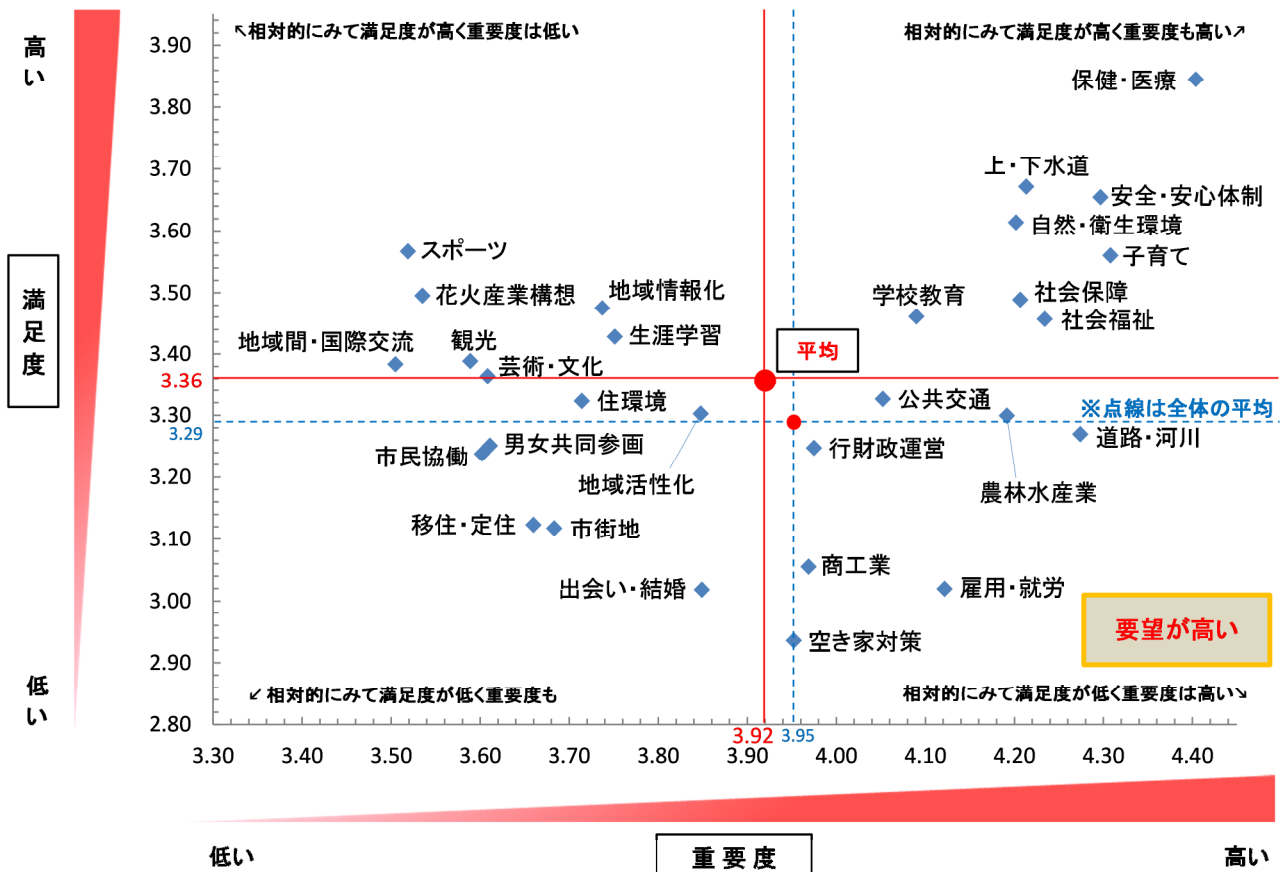
図表16 満足度・重要度の項目別比較(18歳から39歳)



図表 17 満足度・重要度の項目別比較（40歳から64歳）



図表 18 満足度・重要度の項目別比較（65歳以上）



2.5 さらに推進すべき取り組み

2.5.1 産業分野に関する設問について

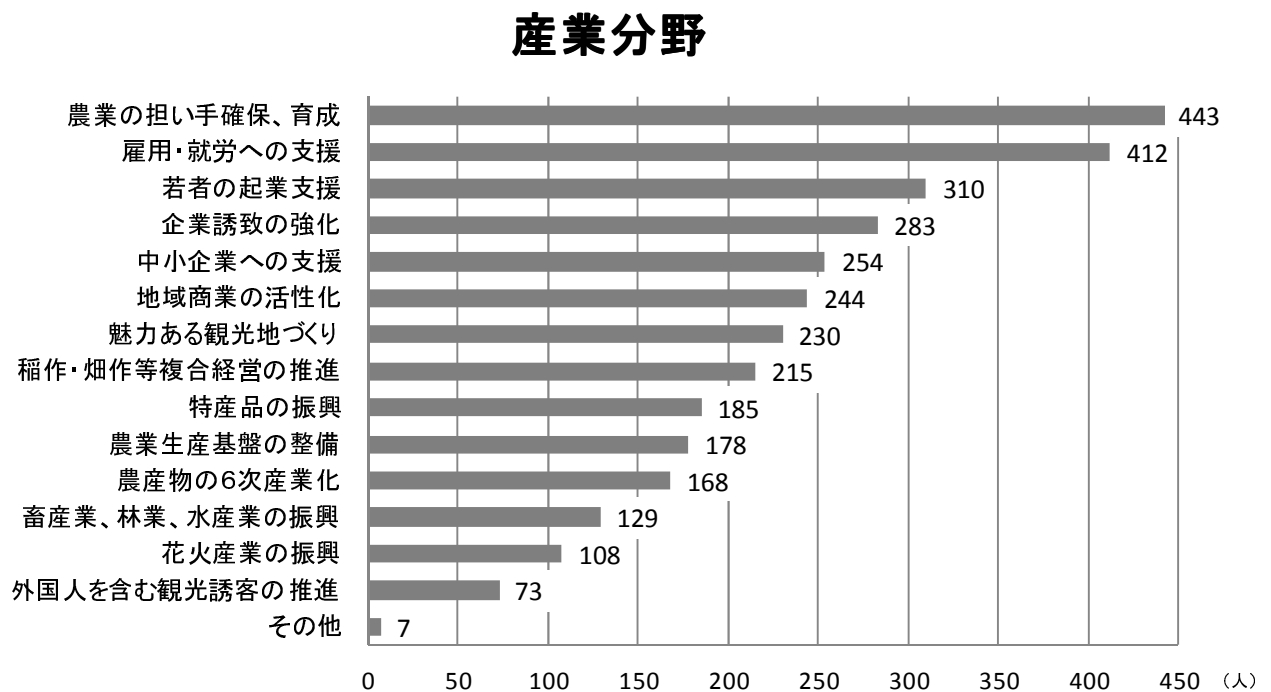
さらに推進すべき取り組みの上位は、「農業の担い手確保、育成」、「雇用・就労への支援」、「若者の起業支援」の順となっている。

一方、下位は「外国人を含む観光誘客の推進」、「花火産業の振興」、「畜産業・林業・水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、20代以下では「魅力ある観光地づくり」、60代以上では「稲作・畑作等複合経営の推進」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、神岡・西仙北地域では「魅力ある観光地づくり」、神岡・中仙地域では「稲作・畑作等複合経営の推進」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 19 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	11
2	魅力ある観光地づくり	10
3	若者の起業支援	7
4	雇用・就労への支援	6
4	花火産業の振興	6

■20代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	28
1	雇用・就労への支援	28
3	魅力ある観光地づくり	21
4	若者の起業支援	20
5	中小企業への支援	15
5	特産品の振興	15

■30代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	59
2	雇用・就労への支援	56
3	中小企業への支援	44
4	若者の起業支援	42
5	企業誘致の強化	41

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	69
2	雇用・就労への支援	65
3	地域商業の活性化	47
4	企業誘致の強化	44
5	若者の起業支援	38

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	76
2	農業の担い手確保、育成	65
3	企業誘致の強化	56
4	中小企業への支援	48
5	地域商業の活性化	39
5	若者の起業支援	39

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	94
2	農業の担い手確保、育成	90
3	若者の起業支援	69
4	稲作・畑作等複合経営の推進	58
5	企業誘致の強化	57

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	75
2	若者の起業支援	63
3	雇用・就労への支援	56
4	企業誘致の強化	49
5	稲作・畑作等複合経営の推進	45

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	39
2	若者の起業支援	26
3	雇用・就労への支援	25
4	稲作・畑作等複合経営の推進	23
5	中小企業への支援	20

図表 21 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	189
2	雇用・就労への支援	176
3	若者の起業支援	143
4	企業誘致の強化	130
5	地域商業の活性化	120

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	23
2	雇用・就労への支援	21
3	企業誘致の強化	15
4	農産物の6次産業化	14
5	魅力ある観光地づくり 稲作・畑作等複合経営の推進	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	39
2	農業の担い手確保、育成	37
3	若者の起業支援	25
4	企業誘致の強化	20
5	魅力ある観光地づくり	20

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	51
2	雇用・就労への支援	42
3	若者の起業支援	39
4	稲作・畑作等複合経営の推進	32
5	特産品の振興	31

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	38
2	雇用・就労への支援	34
3	若者の起業支援	29
4	企業誘致の強化	26
5	地域商業の活性化	23

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	20
2	農業の担い手確保、育成	19
3	企業誘致の強化	13
4	若者の起業支援 地域商業の活性化 中小企業への支援	11
		11

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	38
2	雇用・就労への支援	36
3	中小企業への支援	22
4	若者の起業支援	21
5	企業誘致の強化 地域商業の活性化	20
		20

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	40
2	雇用・就労への支援	37
3	企業誘致の強化	28
4	若者の起業支援	27
5	農業生産基盤の整備	25

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

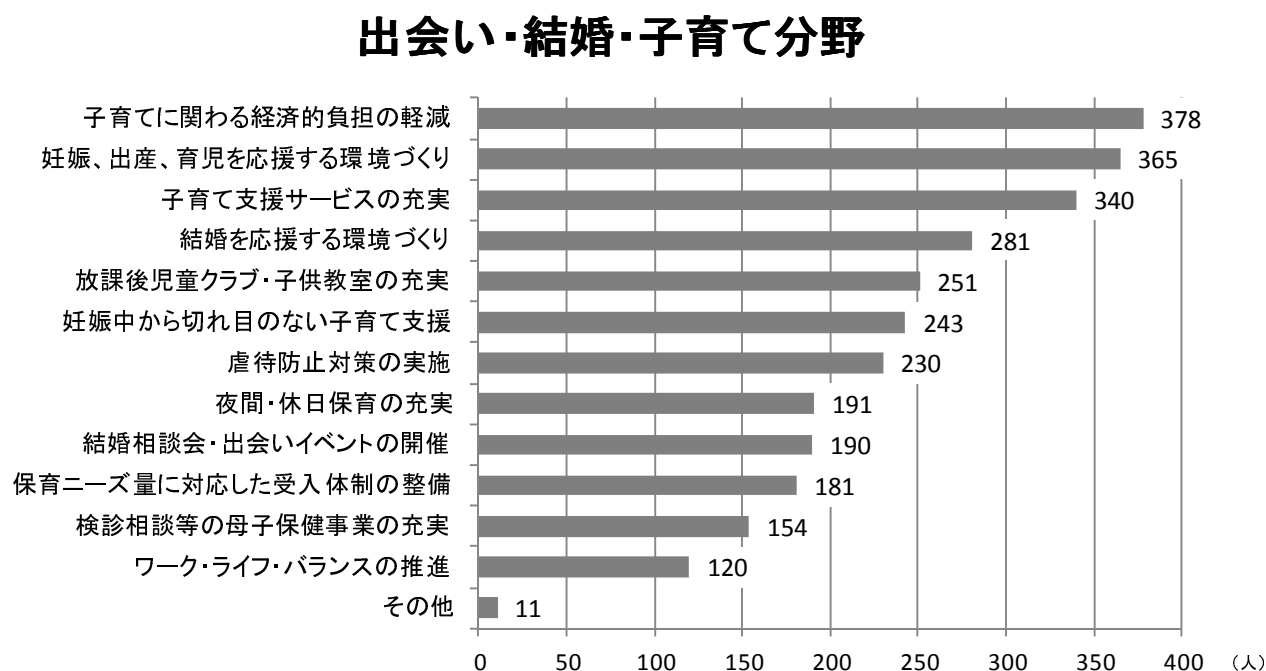
さらに推進すべき取り組みの上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」、「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、「子育て支援サービスの充実」の順となっている。

一方、下位は「ワーク・ライフ・バランスの推進」、「検診相談等の母子保健事業の充実」、「保育ニーズ量に対応した受入体制の整備」の順となっている。

年代別で見ると、40代以下及び80代では「妊娠中から切れ目のない子育て支援」、70代以上では「虐待防止対策の実施」が他の年代にはなく上位に入っている。また、10代では「ワーク・ライフ・バランスの推進」も上位に入っている。

地域別で見ると、西仙北地域では「夜間・休日保育の充実」、協和地域では「結婚相談会・出会いイベントの開催」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	10
2	子育て支援サービスの充実	8
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	7
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	6
5	結婚を応援する環境づくり	5
	ワーク・ライフ・バランスの推進	5

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
2	子育て支援サービスの充実	31
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	21
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	14

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	71
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	65
3	子育て支援サービスの充実	55
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	43
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	43

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	53
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	53
3	子育て支援サービスの充実	47
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	39
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	35

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	61
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	60
3	子育て支援サービスの充実	50
4	結婚を応援する環境づくり	45
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	40

■60代

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	76
2	結婚を応援する環境づくり	74
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	68
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	65
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	56

■70代以上

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	56
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	54
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	51
4	子育て支援サービスの充実	47
5	虐待防止対策の実施	37

■80代以上

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
2	結婚を応援する環境づくり	24
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
4	虐待防止対策の実施	22
5	子育て支援サービスの充実	20
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	20
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	20

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	171
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	162
3	子育て支援サービスの充実	145
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	121
5	結婚を応援する環境づくり	116

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	17
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	16
	結婚を応援する環境づくり	16
4	子育て支援サービスの充実	15
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	37
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	35
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	30
4	結婚を応援する環境づくり	25
5	夜間・休日保育の充実	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
3	結婚を応援する環境づくり	35
4	子育て支援サービスの充実	34
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	32

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
3	子育て支援サービスの充実	24
4	結婚を応援する環境づくり	23
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	20
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	20
	虐待防止対策の実施	20

■南外地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	16
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	13
2	子育て支援サービスの充実	13
	結婚を応援する環境づくり	13
5	虐待防止対策の実施	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	27
2	子育て支援サービスの充実	26
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
4	結婚を応援する環境づくり	20
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	20

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	39
	子育てに関わる経済的負担の軽減	39
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	37
4	結婚を応援する環境づくり	27
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	27

2. 5. 3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

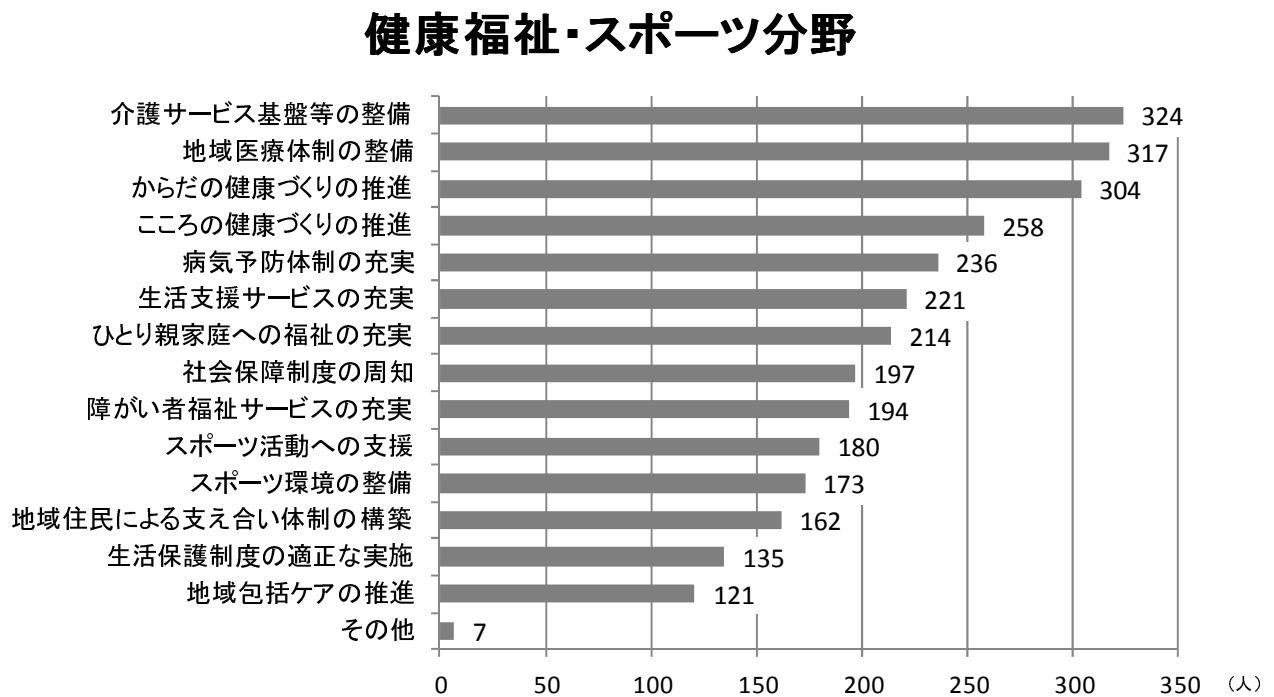
さらに推進すべき取り組みの上位は、「介護サービス基盤等の整備」、「地域医療体制の整備」、「からだの健康づくりの推進」の順となっている。

一方、下位については「地域包括ケアの推進」、「生活保護制度の適正な実施」、「地域住民による支え合い体制の構築」の順となっている。

年代別で見ると、20代から40代までは「地域医療体制の整備」、60代以上では「からだの健康づくりの推進」が最も多くなっている。

地域別で見ると、西仙北、協和、南外地域では「生活支援サービスの充実」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	8
	からだの健康づくりの推進	8
3	こころの健康づくりの推進	7
	病気予防体制の充実	7
5	ひとり親家庭への福祉の充実	6

■20代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	19
	スポーツ環境の整備	19
3	介護サービス基盤等の整備	16
	からだの健康づくりの推進	16
	生活支援サービスの充実	16

■30代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	44
2	からだの健康づくりの推進	43
3	こころの健康づくりの推進	41
4	介護サービス基盤等の整備	40
5	ひとり親家庭への福祉の充実	37

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	46
2	介護サービス基盤等の整備	38
3	からだの健康づくりの推進	37
4	こころの健康づくりの推進	34
	スポーツ活動への支援	34

■50代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	61
2	地域医療体制の整備	58
3	こころの健康づくりの推進	44
4	からだの健康づくりの推進	38
	生活支援サービスの充実	38

■60代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	74
2	介護サービス基盤等の整備	72
3	地域医療体制の整備	65
4	病気予防体制の充実	61
5	こころの健康づくりの推進	57

■70代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	56
2	介護サービス基盤等の整備	54
3	地域医療体制の整備	51
4	病気予防体制の充実	38
	こころの健康づくりの推進	38

■80代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	30
2	介護サービス基盤等の整備	28
3	病気予防体制の充実	25
4	地域医療体制の整備	23
	こころの健康づくりの推進	23
	生活支援サービスの充実	23
	障がい者福祉サービスの充実	23

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	136
2	地域医療体制の整備	135
3	介護サービス基盤等の整備	132
4	こころの健康づくりの推進	105
5	病気予防体制の充実	99

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	18
2	からだの健康づくりの推進	15
	介護サービス基盤等の整備	15
4	病気予防体制の充実	13
5	こころの健康づくりの推進	12
	スポーツ活動への支援	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	34
2	地域医療体制の整備	28
3	生活支援サービスの充実	27
4	からだの健康づくりの推進	26
5	こころの健康づくりの推進	23

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	37
	地域医療体制の整備	37
3	こころの健康づくりの推進	33
4	からだの健康づくりの推進	32
5	病気予防体制の充実	27

■協和地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	30
2	からだの健康づくりの推進	29
3	地域医療体制の整備	28
4	生活支援サービスの充実	26
5	こころの健康づくりの推進	22
	病気予防体制の充実	22

■南外地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	17
2	生活支援サービスの充実	16
3	介護サービス基盤等の整備	15
4	からだの健康づくりの推進	11
	病気予防体制の充実	11

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	病気予防体制の充実	23
	地域医療体制の整備	21
2	からだの健康づくりの推進	21
	こころの健康づくりの推進	21
5	介護サービス基盤等の整備	20

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	33
2	からだの健康づくりの推進	31
3	こころの健康づくりの推進	29
4	地域医療体制の整備	27
5	病気予防体制の充実	21

2.5.4 環境安全分野に関する設問について

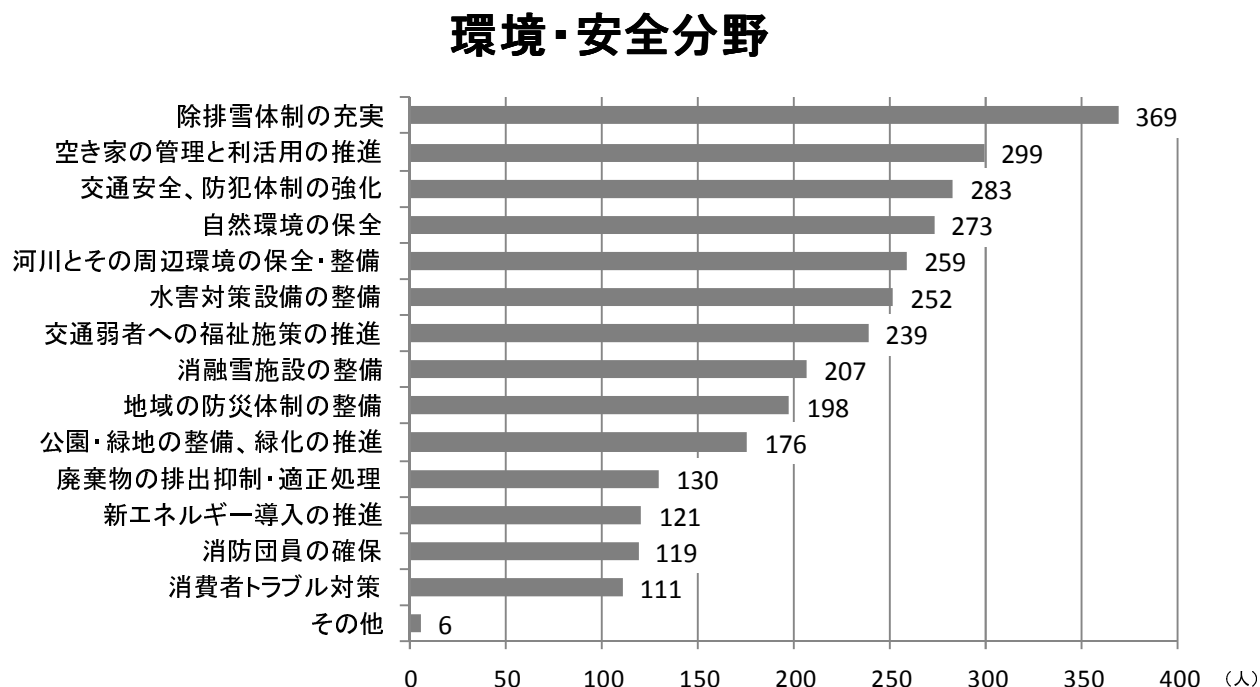
さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」、「空き家の管理と利活用の推進」、「交通安全、防犯体制の強化」の順となっている。

一方、下位は「消費者トラブル対策」、「消防団員の確保」、「新エネルギー導入の推進」の順となっている。

年代別で見ると、70代以外の年代では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、70代では「自然環境の保全」が最も多くなっている。また、20代以下では「公園・緑地の整備、緑化の推進」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、南外地域以外の地域では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、南外地域では「空き家の管理と利活用の推進」が最も多くなっている。また、神岡、西仙北、南外地域では「水害対策設備の整備」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	9
2	自然環境の保全	6
	交通弱者への福祉施策の推進	6
4	交通安全、防犯体制の強化	5
	河川とその周辺環境の保全・整備	5
	地域の防災体制の整備	5
	公園・緑地の整備、緑化の推進	5

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
	交通安全、防犯体制の強化	22
3	公園・緑地の整備、緑化の推進	18
4	自然環境の保全	17
5	水害対策設備の整備	15

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	62
2	空き家の管理と利活用の推進	48
3	交通安全、防犯体制の強化	46
4	消融雪施設の整備	41
5	水害対策設備の整備	39

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	52
2	空き家の管理と利活用の推進	39
3	交通安全、防犯体制の強化	35
	河川とその周辺環境の保全・整備	35
5	水害対策設備の整備	33

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	63
2	空き家の管理と利活用の推進	58
3	自然環境の保全	42
4	交通弱者への福祉施策の推進	38
5	交通安全、防犯体制の強化	37
	水害対策設備の整備	37

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	70
2	自然環境の保全	64
3	交通安全、防犯体制の強化	62
4	河川とその周辺環境の保全・整備	61
5	空き家の管理と利活用の推進	59

■70代

順位	項目	回答数
1	自然環境の保全	57
2	除排雪体制の充実	55
3	河川とその周辺環境の保全・整備	51
4	空き家の管理と利活用の推進	49
	交通弱者への福祉施策の推進	49

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	30
2	交通安全、防犯体制の強化	28
3	河川とその周辺環境の保全・整備	27
4	水害対策設備の整備	25
5	自然環境の保全	24

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	163
2	交通安全、防犯体制の強化	122
3	空き家の管理と利活用の推進	120
4	自然環境の保全	113
5	河川とその周辺環境の保全・整備	108

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	19
	交通安全、防犯体制の強化	19
	水害対策設備の整備	19
4	空き家の管理と利活用の推進	17
	自然環境の保全	17

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	34
2	空き家の管理と利活用の推進	29
3	交通安全、防犯体制の強化	27
4	水害対策設備の整備	26
	自然環境の保全	26
	交通弱者への福祉施策の推進	26

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	42
2	空き家の管理と利活用の推進	36
3	河川とその周辺環境の保全・整備	34
4	自然環境の保全	30
5	交通安全、防犯体制の強化	28
	交通弱者への福祉施策の推進	28

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	32
2	自然環境の保全	30
3	空き家の管理と利活用の推進	28
4	交通安全、防犯体制の強化	25
5	河川とその周辺環境の保全・整備	23
	交通弱者への福祉施策の推進	23

■南外地域

順位	項目	回答数
1	空き家の管理と利活用の推進	16
2	除排雪体制の充実	15
3	水害対策設備の整備	12
4	河川とその周辺環境の保全・整備	10
	交通弱者への福祉施策の推進	10
	消融雪施設の整備	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	23
	交通安全、防犯体制の強化	23
3	空き家の管理と利活用の推進	20
	地域の防災体制の整備	20
5	河川とその周辺環境の保全・整備	19

■太田地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	34
2	自然環境の保全	32
3	交通安全、防犯体制の強化	28
4	空き家の管理と利活用の推進	26
	交通弱者への福祉施策の推進	26

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

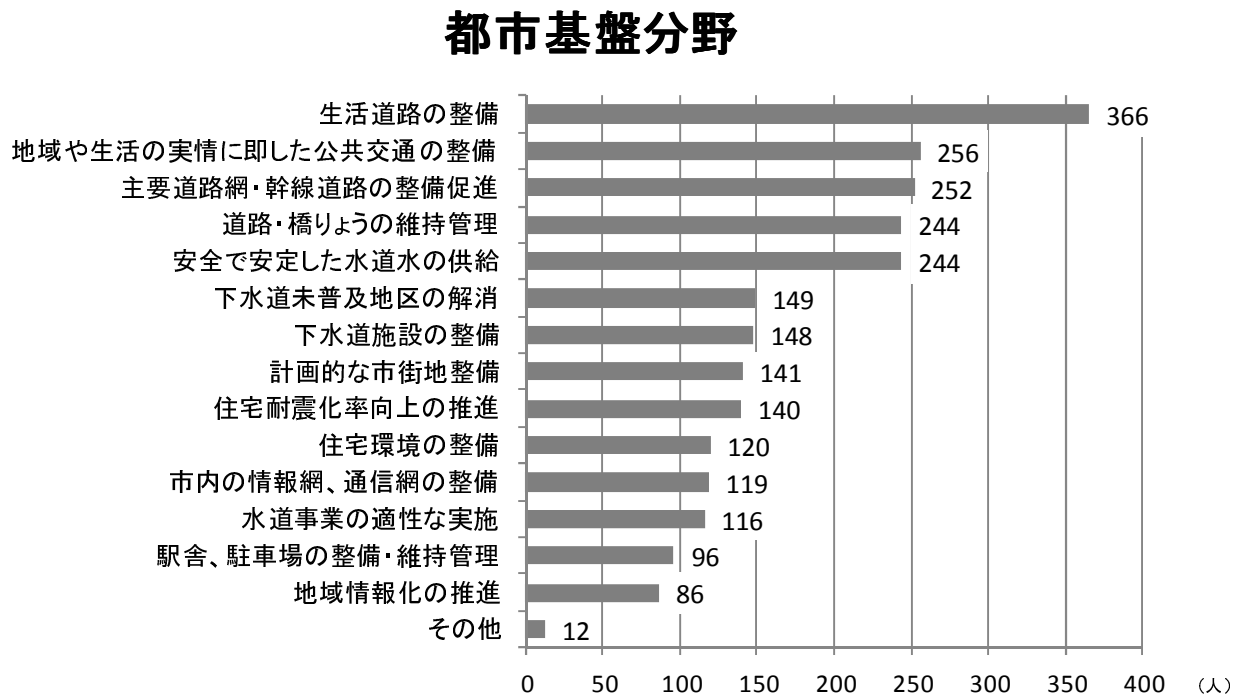
さらに推進すべき取り組みの上位は「生活道路の整備」、「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」、「主要道路網・幹線道路の整備促進」の順となっている。

一方、下位については、「地域情報化の推進」、「駅舎・駐車場の整備・維持管理」、「水道事業の適性な実施」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」が最も多くなっている。また、10代では「市内の情報網、通信網の整備」、「地域情報化の推進」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、南外地域以外の地域では「生活道路の整備」が最も多くなっており、南外地域では「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が最も多くなっている。また、仙北地域では「計画的な市街地整備」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 31 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	7
2	市内の情報網、通信網の整備	6
	地域情報化の推進	6
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	5
	主要道路網・幹線道路の整備促進	5
	住宅耐震化率向上の推進	5
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	5

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	27
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	20
3	安全で安定した水道水の供給	13
4	駅舎、駐車場の整備・維持管理	12
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	11
5	住宅環境の整備	11
	計画的な市街地整備	11

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	53
2	道路・橋りょうの維持管理	42
3	安全で安定した水道水の供給	39
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	31
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	30

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	43
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	43
3	安全で安定した水道水の供給	35
4	道路・橋りょうの維持管理	32
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	27

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	58
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	46
3	安全で安定した水道水の供給	44
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	38
5	道路・橋りょうの維持管理	37

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	84
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	58
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	56
4	道路・橋りょうの維持管理	54
5	安全で安定した水道水の供給	52

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	56
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	45
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	41
4	道路・橋りょうの維持管理	40
5	安全で安定した水道水の供給	32

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	27
3	道路・橋りょうの維持管理	23
4	安全で安定した水道水の供給	21
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	19
5	住宅耐震化率向上の推進	19
	下水道未普及地区の解消	19

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	147
2	安全で安定した水道水の供給	118
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	106
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	104
5	道路・橋りょうの維持管理	103

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
2	安全で安定した水道水の供給	18
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	13
	道路・橋りょうの維持管理	13
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	38
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	24
4	道路・橋りょうの維持管理	22
5	安全で安定した水道水の供給	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	45
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	28
	道路・橋りょうの維持管理	28
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	27
5	安全で安定した水道水の供給	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	30
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	30
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	25
	安全で安定した水道水の供給	25
5	道路・橋りょうの維持管理	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	13
2	生活道路の整備	12
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	10
4	安全で安定した水道水の供給	9
	道路・橋りょうの維持管理	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	27
2	道路・橋りょうの維持管理	21
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	17
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
5	安全で安定した水道水の供給	12
	計画的な市街地整備	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	39
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	27
3	道路・橋りょうの維持管理	25
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
5	安全で安定した水道水の供給	19

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

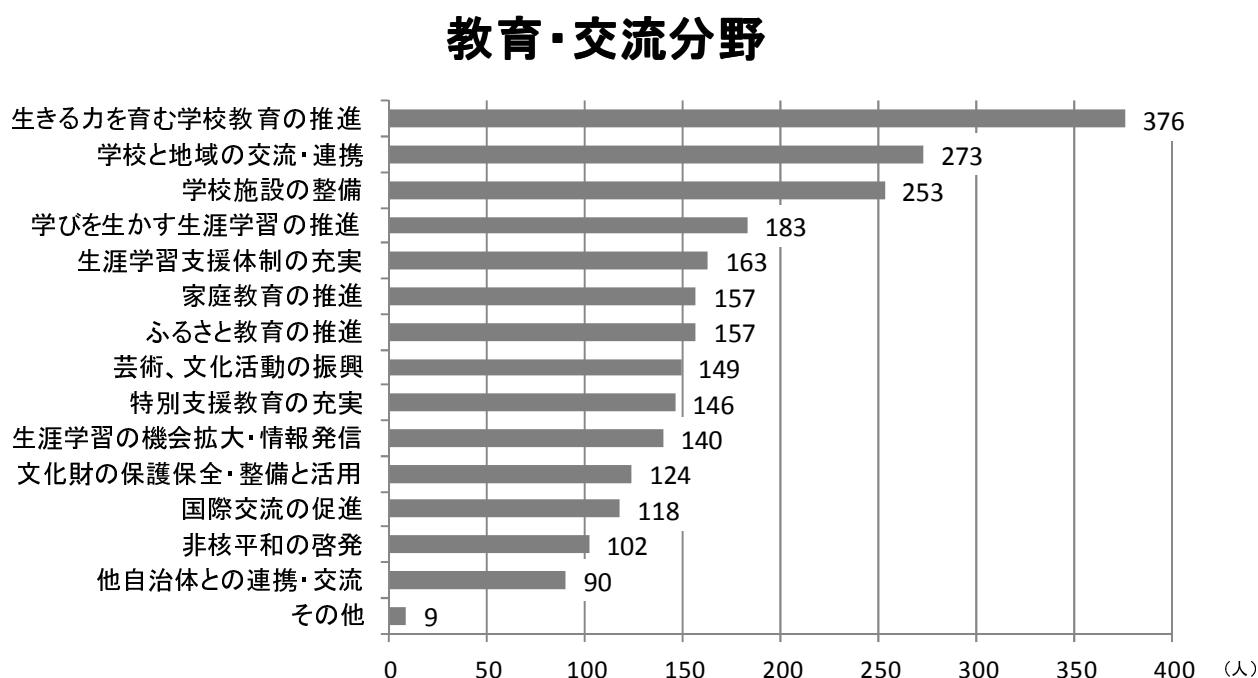
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」、「学校と地域の交流・連携」、「学校施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」、「非核平和の啓発」、「国際交流の促進」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外の年代では「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっており、10代では「学校と地域の交流・連携」が最も多くなっている。また、20代以下では「国際交流の促進」、80代では「文化財の保護保全・整備と活用」、「非核平和の啓発」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別では、全ての地域で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっている。また、中仙地域では「ふるさと教育の推進」、協和地域では「文化財の保護保全・整備と活用」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 34 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	学校と地域の交流・連携	9
2	生きる力を育む学校教育の推進	8
3	学校施設の整備	6
	国際交流の促進	6
5	家庭教育の推進	5
	特別支援教育の充実	5

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	21
2	学校施設の整備	19
3	学びを生かす生涯学習の推進	14
4	学校と地域の交流・連携	13
	国際交流の促進	13

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	65
2	学校施設の整備	51
3	学校と地域の交流・連携	38
4	学びを生かす生涯学習の推進	30
5	特別支援教育の充実	26

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	53
2	学校と地域の交流・連携	44
3	学校施設の整備	38
4	学びを生かす生涯学習の推進	25
5	特別支援教育の充実	18
	芸術、文化活動の振興	18

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	56
2	学校施設の整備	47
3	学校と地域の交流・連携	34
4	芸術、文化活動の振興	28
5	家庭教育の推進	26

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	87
2	学校と地域の交流・連携	62
3	生涯学習の機会拡大・情報発信	43
4	学校施設の整備	42
5	ふるさと教育の推進	40

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	62
2	学校と地域の交流・連携	47
3	生涯学習支援体制の充実	34
4	学校施設の整備	31
5	ふるさと教育の推進	30
	家庭教育の推進	30
	学びを生かす生涯学習の推進	30

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	21
3	生涯学習支援体制の充実	20
4	学びを生かす生涯学習の推進	18
	文化財の保護保全・整備と活用	18
	非核平和の啓発	18

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	175
2	学校と地域の交流・連携	112
3	学校施設の整備	104
4	学びを生かす生涯学習の推進	84
5	家庭教育の推進	80

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	20
2	学校施設の整備	13
3	学校と地域の交流・連携	11
4	学びを生かす生涯学習の推進	9
	生涯学習支援体制の充実	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	31
2	学校と地域の交流・連携	25
3	学校施設の整備	20
4	芸術、文化活動の振興	17
5	学びを生かす生涯学習の推進	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	38
2	学校と地域の交流・連携	33
3	学校施設の整備	32
4	学びを生かす生涯学習の推進	20
	特別支援教育の充実	17
5	ふるさと教育の推進	17
	生涯学習支援体制の充実	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	32
2	学校と地域の交流・連携	27
3	生涯学習支援体制の充実	20
4	学校施設の整備	18
	文化財の保護保全・整備と活用	18

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	16
2	学校施設の整備	13
3	学校と地域の交流・連携	11
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	7
5	生涯学習支援体制の充実	6
	芸術、文化活動の振興	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校施設の整備	21
3	学校と地域の交流・連携	19
4	家庭教育の推進	15
5	学びを生かす生涯学習の推進	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	34
2	学校と地域の交流・連携	30
3	学校施設の整備	27
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	18
5	特別支援教育の充実	17

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

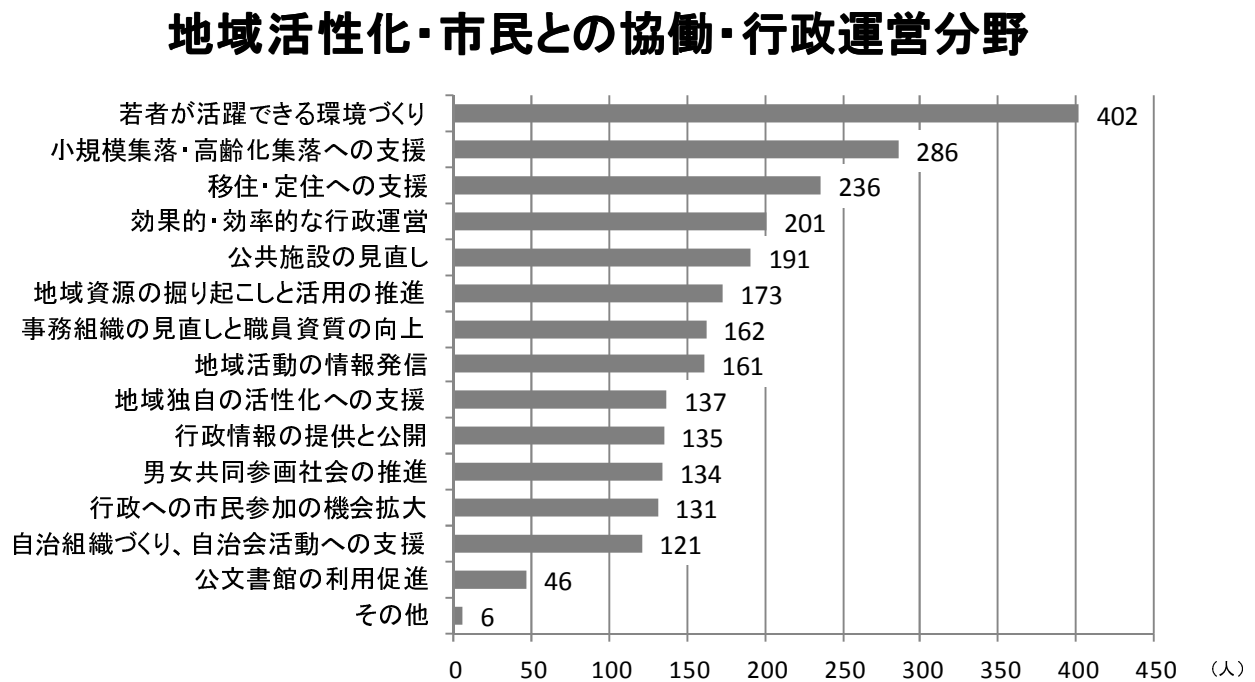
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」、「小規模集落・高齢化集落への支援」、「移住・定住への支援」の順となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」、「自治組織づくり、自治会活動への支援」、「行政への市民参加の機会拡大」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっている。また、10代では「地域活動の情報発信」が他の年代に比べ順位が高く、80代では「自治組織づくり、自治会活動への支援」、「地域独自の活性化への支援」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、協和、南外地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も多くなっており、それ以外の地域では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっている。また、協和地域では「地域独自の活性化への支援」、南外地域では「自治組織づくり、自治会活動への支援」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 37 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	13
2	地域活動の情報発信	9
3	移住・定住への支援	7
	行政への市民参加の機会拡大	7
	小規模集落・高齢化集落への支援	6
5	効果的・効率的な行政運営	6
	地域資源の掘り起こしと活用の推進	6

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	32
2	移住・定住への支援	17
3	小規模集落・高齢化集落への支援	16
4	男女共同参画社会の推進	13
	公共施設の見直し	13

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	60
2	移住・定住への支援	39
3	小規模集落・高齢化集落への支援	32
4	公共施設の見直し	31
5	地域活動の情報発信	25

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	51
2	小規模集落・高齢化集落への支援	39
3	効果的・効率的な行政運営	34
4	移住・定住への支援	29
5	公共施設の見直し	22
	事務組織の見直しと職員資質の向上	22

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	61
2	移住・定住への支援	47
3	小規模集落・高齢化集落への支援	46
4	効果的・効率的な行政運営	40
5	公共施設の見直し	30

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	89
2	小規模集落・高齢化集落への支援	62
3	移住・定住への支援	46
4	公共施設の見直し	38
	地域資源の掘り起こしと活用の推進	38

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	66
2	小規模集落・高齢化集落への支援	56
3	公共施設の見直し	37
4	効果的・効率的な行政運営	34
5	行政情報の提供と公開	33

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	25
	小規模集落・高齢化集落への支援	25
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	22
4	行政への市民参加の機会拡大	19
5	地域独自の活性化への支援	18
	地域活動の情報発信	18

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	189
2	移住・定住への支援	105
3	小規模集落・高齢化集落への支援	103
4	効果的・効率的な行政運営	87
5	公共施設の見直し	85

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	20
2	小規模集落・高齢化集落への支援	15
3	効果的・効率的な行政運営	13
4	地域活動の情報発信	11
	事務組織の見直しと職員資質の向上	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	34
2	小規模集落・高齢化集落への支援	33
3	移住・定住への支援	23
4	効果的・効率的な行政運営	21
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	42
2	小規模集落・高齢化集落への支援	36
3	移住・定住への支援	25
4	効果的・効率的な行政運営	22
	公共施設の見直し	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	37
2	若者が活躍できる環境づくり	34
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	24
4	地域活動の情報発信	23
5	地域独自の活性化への支援	22

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	17
2	若者が活躍できる環境づくり	14
3	移住・定住への支援	10
4	公共施設の見直し	8
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	6
	事務組織の見直しと職員資質の向上	6
	効果的・効率的な行政運営	6
	自治組織づくり、自治会活動への支援	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	28
2	移住・定住への支援	16
3	小規模集落・高齢化集落への支援	14
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	13
	事務組織の見直しと職員資質の向上	13
	効果的・効率的な行政運営	13

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	35
2	小規模集落・高齢化集落への支援	25
3	移住・定住への支援	22
4	公共施設の見直し	21
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	17
	効果的・効率的な行政運営	17

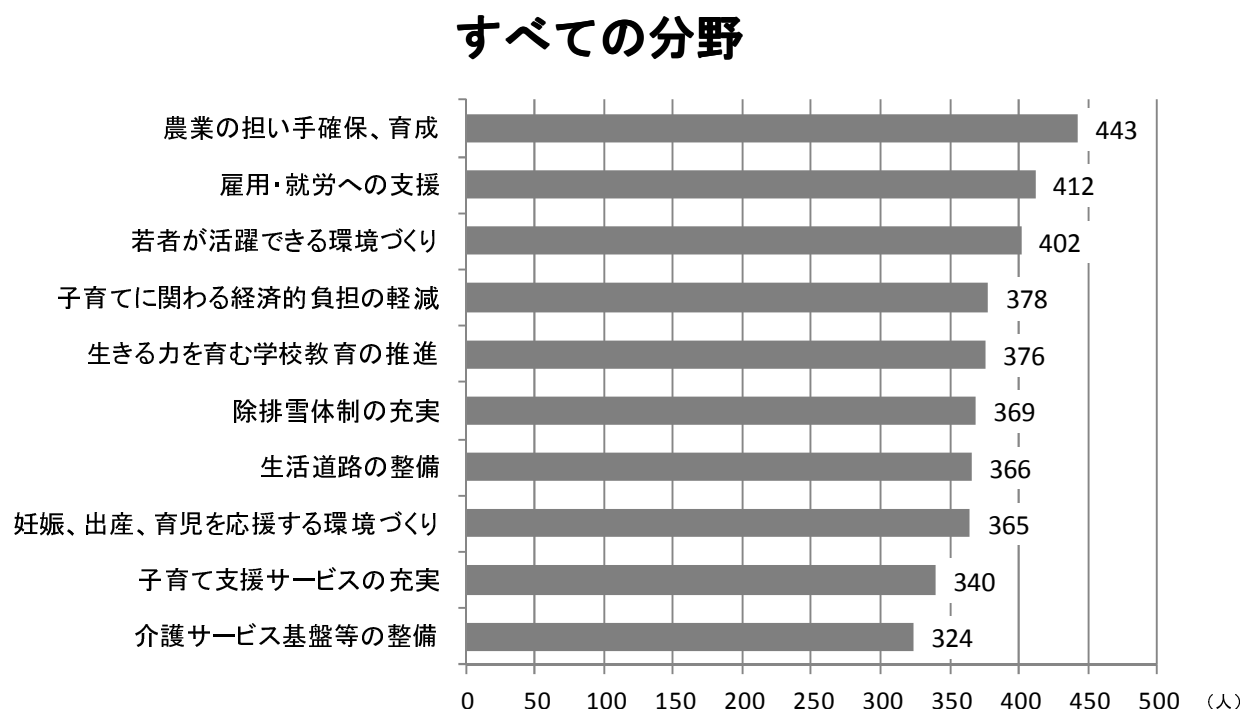
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「農業の担い手確保、育成」、「雇用・就労への支援」、「若者が活躍できる環境づくり」、「子育てに関わる経済的負担の軽減」、「生きる力を育む学校教育の推進」の順となっている。

年代別で見ると、10代では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、20代、30代では子育てに関する項目、40代から60代では「雇用・就労への支援」、70代では若者支援に関する項目、80代では道路整備や健康、環境・安全分野に関する項目が他の年代よりも高くなっている。

地域別で見ると、大曲地域では「若者が活躍できる環境づくり」、協和、南外地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が他の地域よりも高くなっている。また、大曲、西仙北、中仙、仙北、太田地域では子育てに関する項目が他の地域よりも高くなっている。

図表 40 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	13
2	農業の担い手確保、育成	11
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	10
	魅力ある観光地づくり	10
	除排雪体制の充実	9
5	学校と地域の交流・連携	9
	地域活動の情報発信	9
	生きる力を育む学校教育の推進	8
8	子育て支援サービスの充実	8
	介護サービス基盤等の整備	8
	からだの健康づくりの推進	8

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
2	若者が活躍できる環境づくり	32
3	子育て支援サービスの充実	31
	農業の担い手確保、育成	28
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
	雇用・就労への支援	28
7	生活道路の整備	27
	除排雪体制の充実	22
8	交通安全、防犯体制の強化	22
	魅力ある観光地づくり	21
10	生きる力を育む学校教育の推進	21
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	21

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	71
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	65
	生きる力を育む学校教育の推進	65
4	除排雪体制の充実	62
5	若者が活躍できる環境づくり	60
6	農業の担い手確保、育成	59
7	雇用・就労への支援	56
8	子育て支援サービスの充実	55
9	生活道路の整備	53
10	学校施設の整備	51

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	69
2	雇用・就労への支援	65
	子育てに関わる経済的負担の軽減	53
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	53
	生きる力を育む学校教育の推進	53
6	除排雪体制の充実	52
7	若者が活躍できる環境づくり	51
8	子育て支援サービスの充実	47
	地域商業の活性化	47
10	地域医療体制の整備	46

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	76
2	農業の担い手確保、育成	65
3	除排雪体制の充実	63
	子育てに関わる経済的負担の軽減	61
4	若者が活躍できる環境づくり	61
	介護サービス基盤等の整備	61
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	60
	地域医療体制の整備	58
8	生活道路の整備	58
	空き家の管理と利活用の推進	58

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	94
2	農業の担い手確保、育成	90
3	若者が活躍できる環境づくり	89
4	生きる力を育む学校教育の推進	87
5	生活道路の整備	84
6	子育て支援サービスの充実	76
7	結婚を応援する環境づくり	74
	からだの健康づくりの推進	74
9	介護サービス基盤等の整備	72
10	除排雪体制の充実	70

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	75
2	若者が活躍できる環境づくり	66
3	若者の起業支援	63
4	生きる力を育む学校教育の推進	62
5	自然環境の保全	57
	雇用・就労への支援	56
	生活道路の整備	56
6	結婚を応援する環境づくり	56
	からだの健康づくりの推進	56
	小規模集落・高齢化集落への支援	56

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	39
2	生活道路の整備	32
3	からだの健康づくりの推進	30
	除排雪体制の充実	30
5	介護サービス基盤等の整備	28
	交通安全、防犯体制の強化	28
	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
7	河川とその周辺環境の保全・整備	27
	主要道路網・幹線道路の整備促進	27
10	若者の起業支援	26

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	189
	若者が活躍できる環境づくり	189
3	雇用・就労への支援	176
4	生きる力を育む学校教育の推進	175
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	171
6	除排雪体制の充実	163
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	162
8	生活道路の整備	147
9	子育て支援サービスの充実	145
10	若者の起業支援	143

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	23
2	雇用・就労への支援	21
	生活道路の整備	21
4	若者が活躍できる環境づくり	20
	生きる力を育む学校教育の推進	20
	除排雪体制の充実	19
6	交通安全、防犯体制の強化	19
	水害対策設備の整備	19
9	地域医療体制の整備	18
	安全で安定した水道水の供給	18

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	39
2	生活道路の整備	38
3	農業の担い手確保、育成	37
	子育て支援サービスの充実	37
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	35
	若者が活躍できる環境づくり	34
6	除排雪体制の充実	34
	介護サービス基盤等の整備	34
9	小規模集落・高齢化集落への支援	33
10	生きる力を育む学校教育の推進	31

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	51
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
3	生活道路の整備	45
	雇用・就労への支援	42
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
	若者が活躍できる環境づくり	42
	除排雪体制の充実	42
8	若者の起業支援	39
9	生きる力を育む学校教育の推進	38
10	介護サービス基盤等の整備	37
	地域医療体制の整備	37

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	38
2	小規模集落・高齢化集落への支援	37
3	雇用・就労への支援	34
	若者が活躍できる環境づくり	34
5	除排雪体制の充実	32
	生きる力を育む学校教育の推進	32
	生活道路の整備	30
7	介護サービス基盤等の整備	30
	自然環境の保全	30
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	30

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	20
2	農業の担い手確保、育成	19
3	小規模集落・高齢化集落への支援	17
	地域医療体制の整備	17
	生きる力を育む学校教育の推進	16
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	16
	空き家の管理と利活用の推進	16
	生活支援サービスの充実	16
9	除排雪体制の充実	15
	介護サービス基盤等の整備	15

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	38
2	雇用・就労への支援	36
3	生きる力を育む学校教育の推進	28
	若者が活躍できる環境づくり	28
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	27
	生活道路の整備	27
7	子育て支援サービスの充実	26
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
	除排雪体制の充実	23
9	病気予防体制の充実	23
	交通安全、防犯体制の強化	23

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	40
	生活道路の整備	39
2	子育て支援サービスの充実	39
	子育てに関わる経済的負担の軽減	39
5	雇用・就労への支援	37
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	37
7	若者が活躍できる環境づくり	35
8	生きる力を育む学校教育の推進	34
	除排雪体制の充実	34
10	介護サービス基盤等の整備	33

2.6 あなたが思う大仙市について

2.6.1 市内在住の経緯に関する設問について

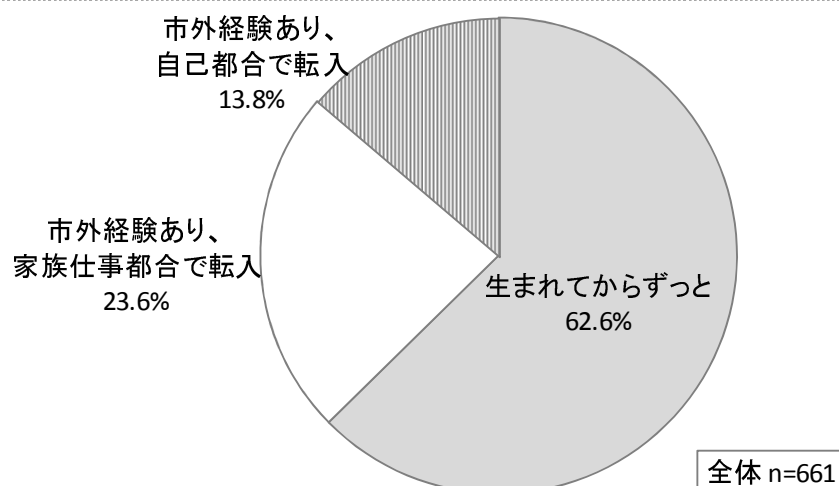
現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる」が62.6%、「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」が23.6%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た」が13.8%となっている。

属性別では、性別で見ると、「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方は男性が69.8%、女性が57.1%となっており、男性の方が12.7ポイント大きくなっている。「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方は、男性が18.6%、女性が27.8%となっており、女性の方が9.2ポイント大きくなっている。

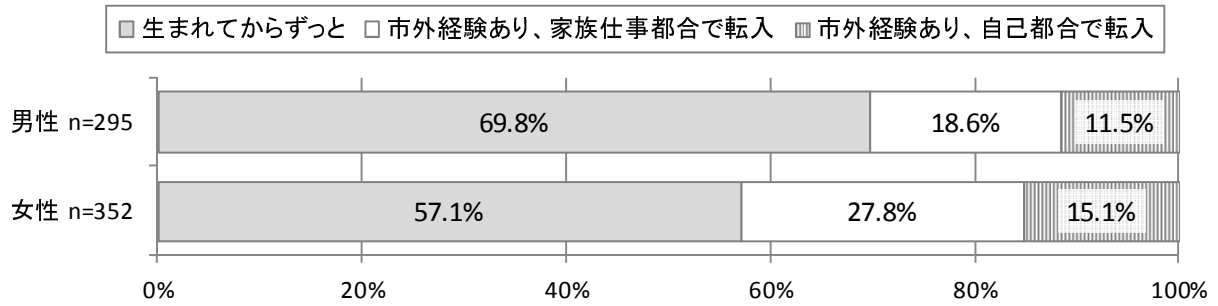
年代別で見ると、「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方の割合が最も大きいのは10代と20代を合わせた年代で81.4%となっている。一方、最も小さいのは30代で49.0%となっており、30代以降は、40代を除き年代が上がるにつれて割合が大きくなり、80代で71.1%となっている。「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方の割合が最も大きいのは30代で37.8%、最も小さいのは10代と20代を合わせた年代で13.6%となっている。「市外に住んだことがあり、自分の意思で引っ越して来た」と回答した方の割合が最も大きいのは50代で18.3%、最も小さいのは10代と20代を合わせた年代で5.1%となっている。

地域別で見ると、南外地域では「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方の割合が最も小さく、「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と「市外に住んだことがあり、自分の意思で引っ越して来た」と回答した方の割合はどちらも最も大きくなっている。「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方の割合が最も大きいのは西仙北地域で74.6%となっている。

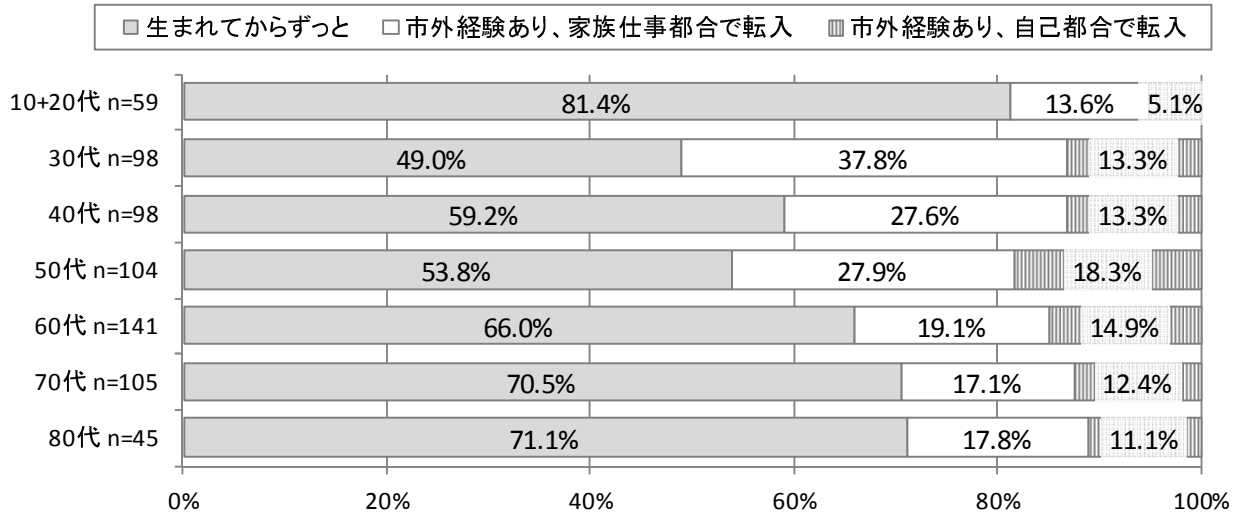
図表 43 大仙市に住んでいる経緯は



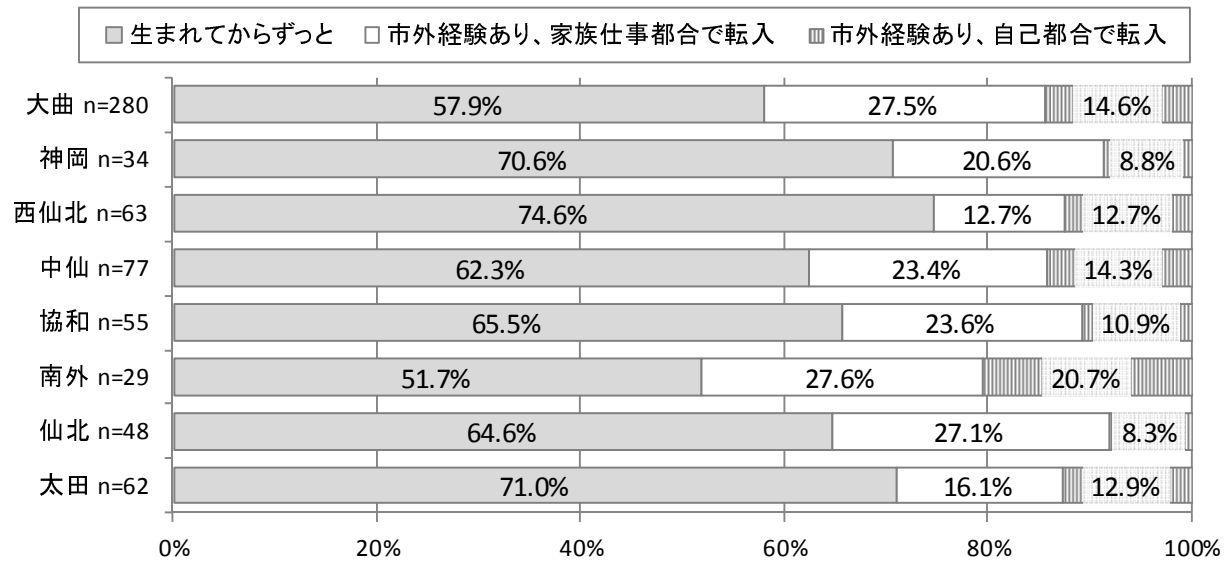
図表 44 大仙市に住んでいる経緯は（性別）



図表 45 大仙市に住んでいる経緯は（年代別）



図表 46 大仙市に住んでいる経緯は（地域別）



2.6.2 「住みやすさ」に関する設問について

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか、という設問について、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方が55.0%で最も多く、次いで「住みやすい」が32.1%となっている。「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の割合を合わせると、87.1%で、9割近くを占めている。

また、これからも大仙市に住み続けたいと思いますか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」と回答した方が75.2%で最も多く、7割以上を占めている。

属性別では、性別で見ると、「住みやすいか」では大きな違いは見られないが、「住み続けたいか」では、「市内の別の場所へ移りたい」と回答した方は男性が9.2%、女性が16.9%となっており、女性の方が7.7ポイント大きくなっている。

年代別で見ると、「住みやすいか」については、「住みやすい」と回答した方の割合が最も大きいのは80代で45.7%だが、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が最も大きいのは70代で90.4%となっている。「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合が最も大きいのは30代で19.4%となっている。

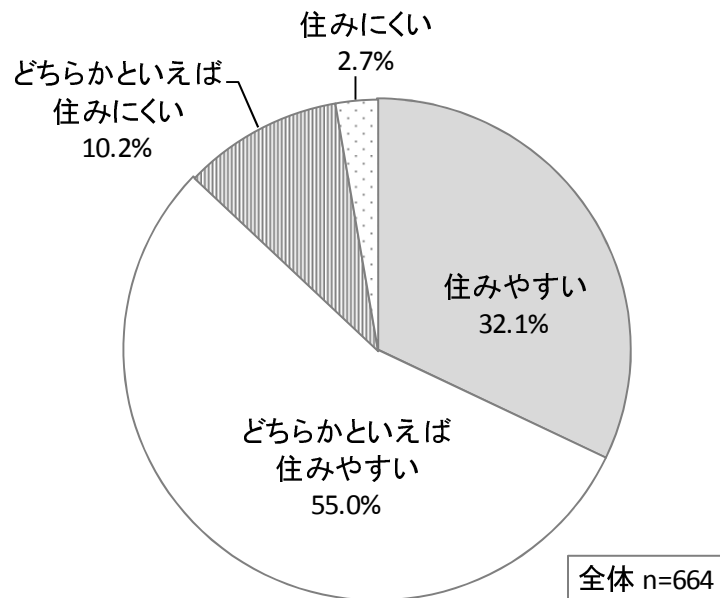
また、「住み続けたいか」については、「今の場所に住み続けたい」と回答した方の割合は年代が上がるにつれて大きくなり、80代が86.4%で最も大きくなっている。「市内の別の場所へ移りたい」は大きな変化はないが、「市外に移りたい」と「住み続けたいが、移らざるを得ない」の割合は年代が下がるにつれて大きくなる傾向となっている。

地域別で見ると、「住みやすいか」については、「住みやすい」と回答した方の割合は南外地域で13.8%となっており、他の地域に比べて小さくなっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が最も大きいのは仙北地域で95.8%となっている。「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」は、仙北地域では他の地域に比べどちらも小さくなくなっており、2つを合わせた割合は4.2%となっている。

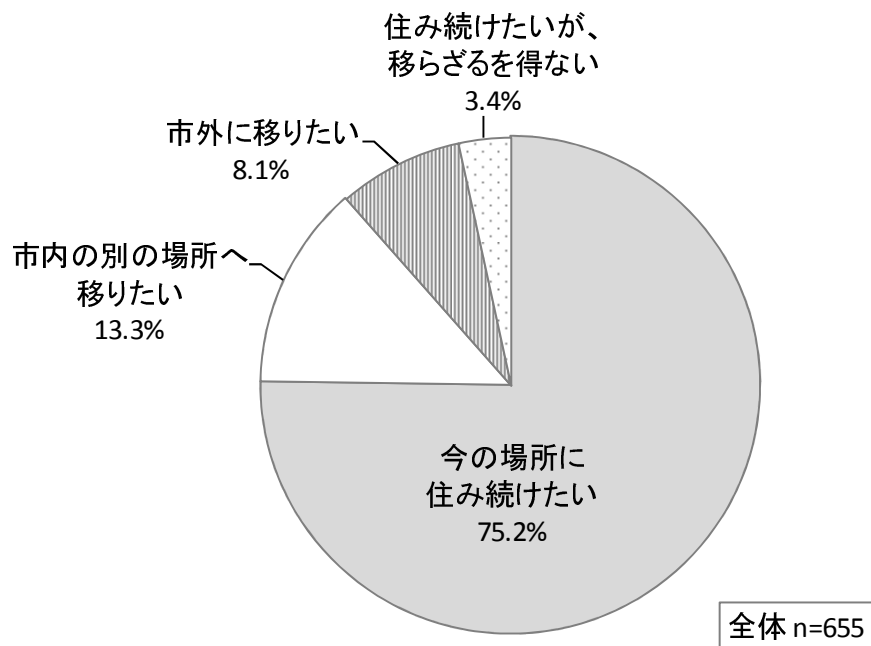
また、「住み続けたいか」については、「今の場所に住み続けたい」は仙北地域の85.4%、「市内の別の場所へ移りたい」は南外地域の28.6%、「市外に移りたい」と「住み続けたいが、移らざるを得ない」はどちらも協和地域でそれぞれ14.3%、8.9%が最も大きくなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方は、「住みやすいか」については「住みやすい」、「住み続けたいか」については「今の場所に住み続けたい」と回答した方の割合がどちらも最も小さくなっている。

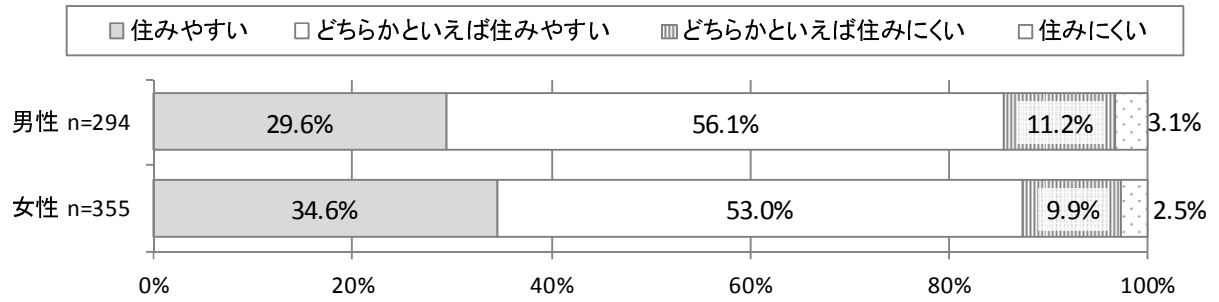
図表 47 大仙市は住みやすいか



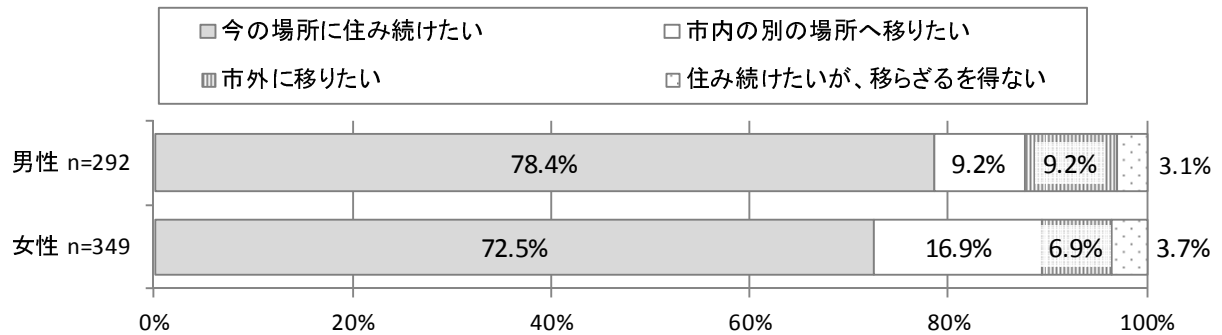
図表 48 大仙市に住み続けたいか



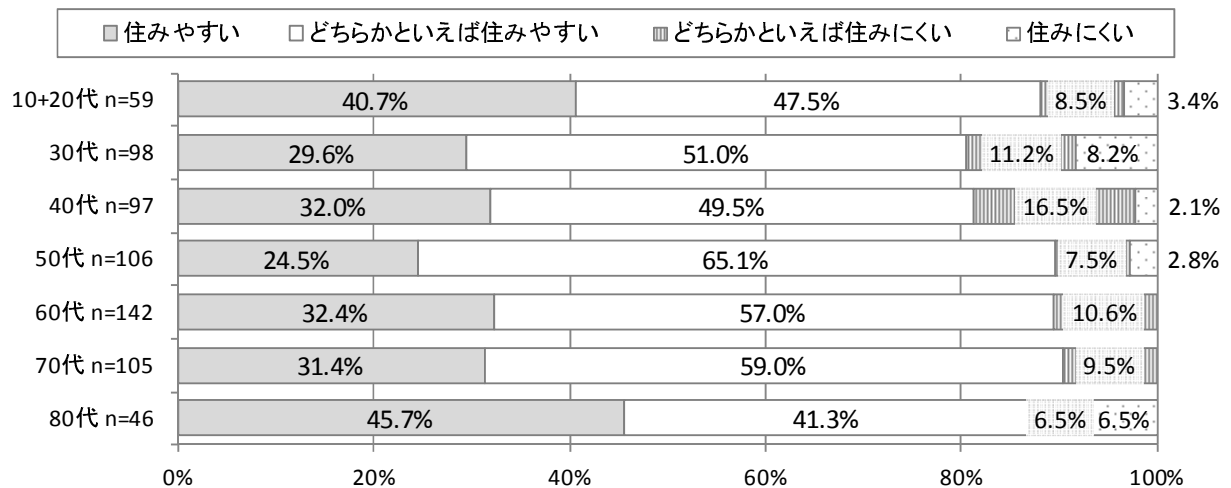
図表 49 大仙市は住みやすいか（性別）



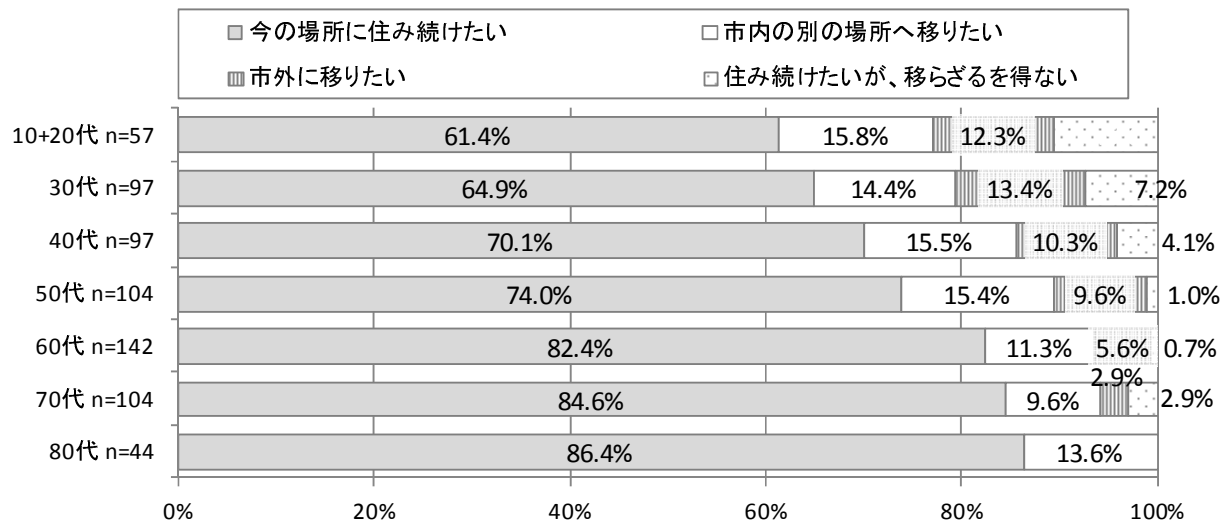
図表 50 大仙市に住み続けたいか（性別）



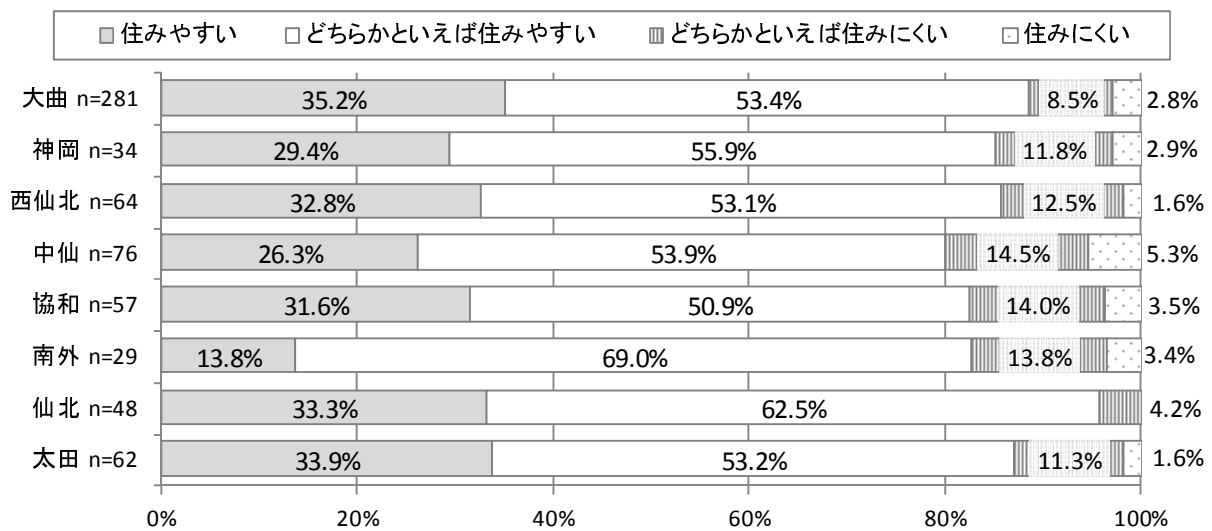
図表 51 大仙市は住みやすいか（年代別）



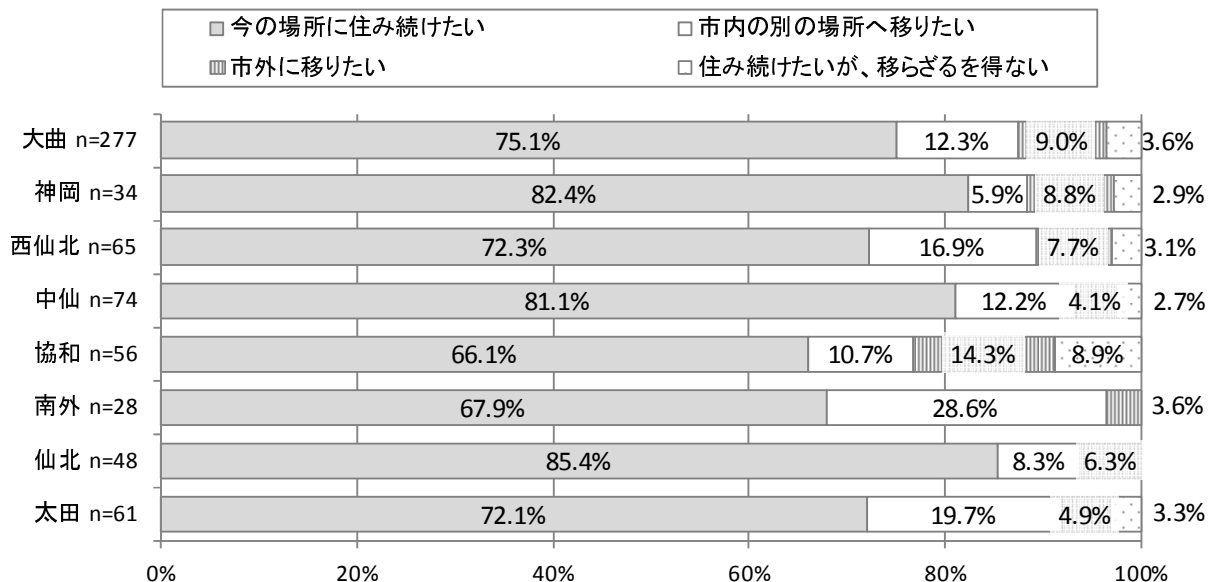
図表 52 大仙市に住み続けたいか（年代別）



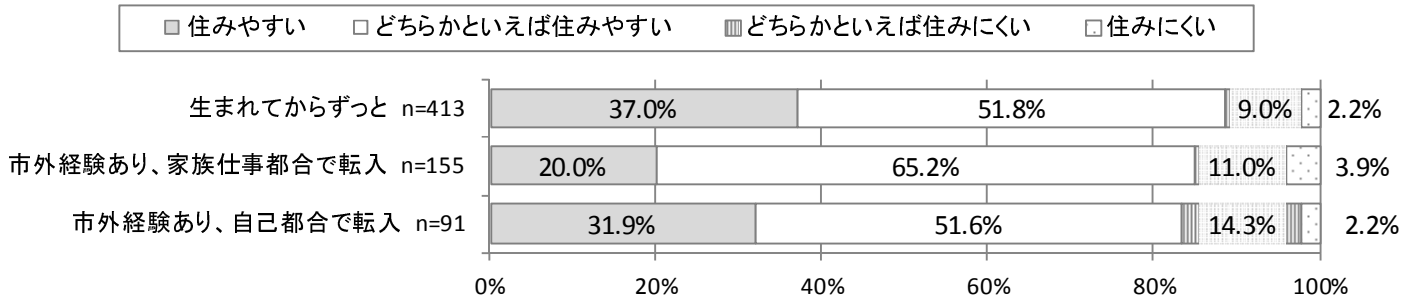
図表 53 大仙市は住みやすいか（地域別）



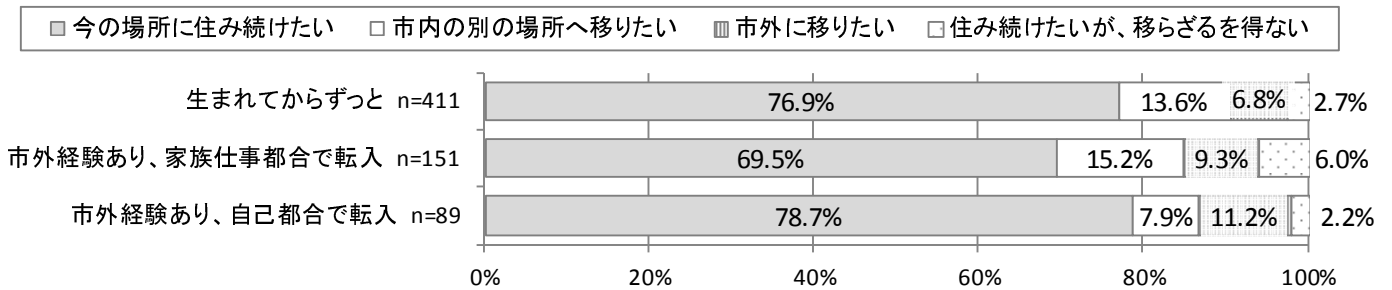
図表 54 大仙市に住み続けたいか（地域別）



図表 55 大仙市は住みやすいか（住んでいる経緯別）



図表 56 大仙市に住み続けたいか（住んでいる経緯別）



2.6.3 社会活動・地域活動に関する設問について

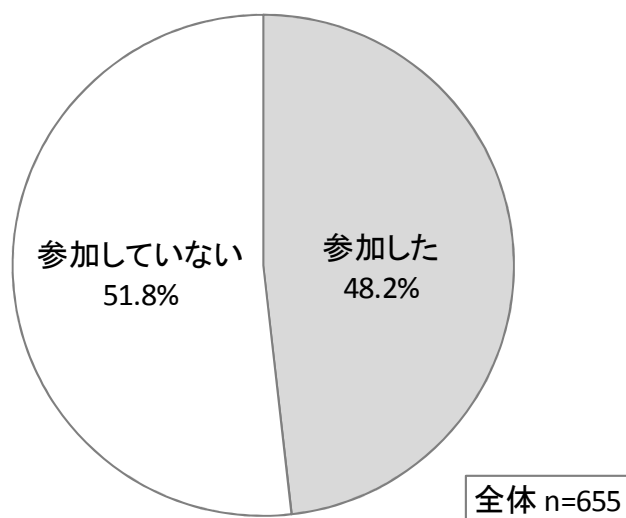
ここ1年間で、仕事以外で社会活動や地域活動（自治会、PTA、環境保全、見守り活動など）に参加したかについては、「参加した」と「参加していない」とでは概ね半数ずつとなっている。

属性別では、性別で見ると、「参加した」と回答した方は男性が55.4%、女性が42.2%となっており、男性の方が13.2ポイント大きくなっている。

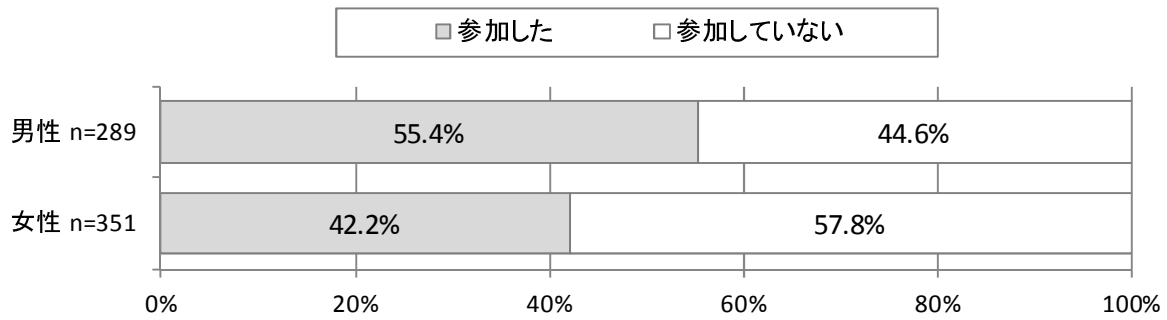
年代別で見ると、「参加した」と回答した方の割合は、10代と20代を合わせた年代が10.2%で最も小さくなっており、30代から50代までは4割前後、60代以上では6割前後となっている。

地域別では、「参加した」と回答した方は大曲地域以外では全て半数以上となっており、大曲地域では33.7%と最も小さくなっている。

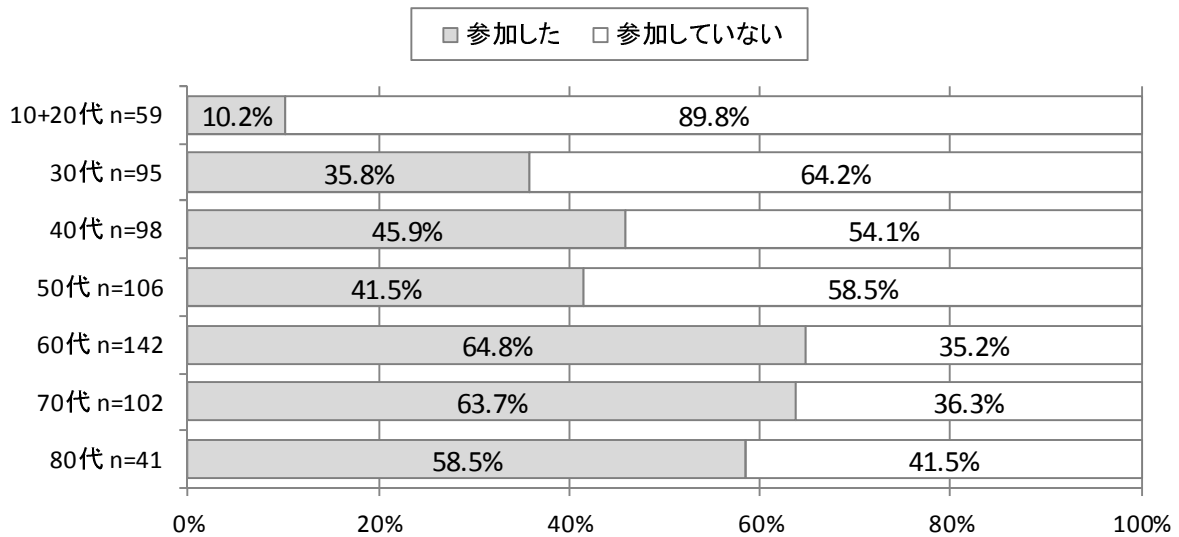
図表 57 社会活動、地域活動に参加したか



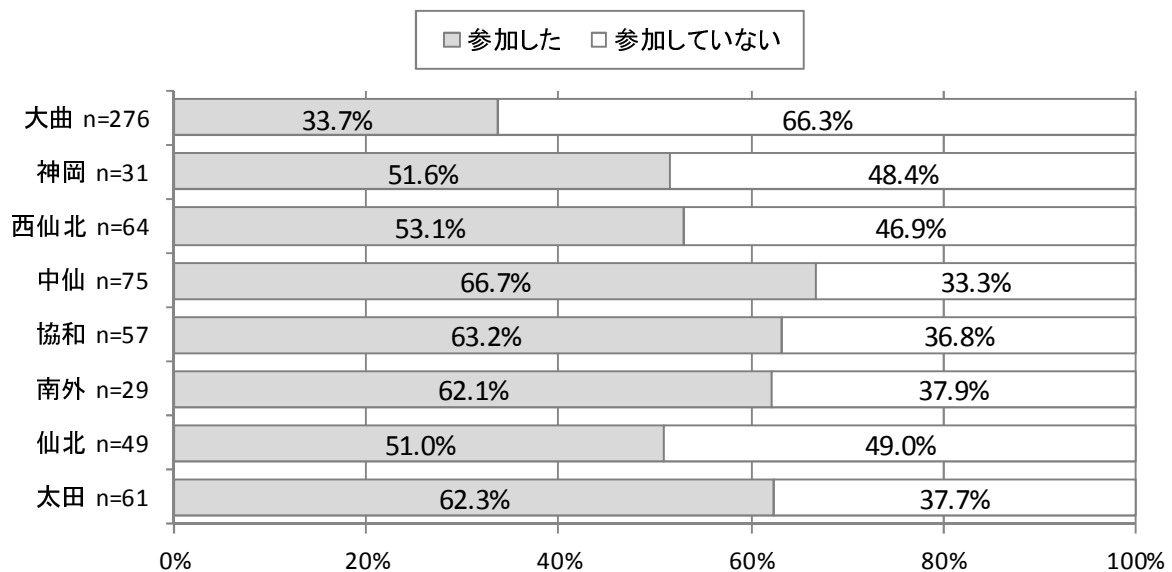
図表 58 社会活動、地域活動に参加したか（性別）



図表 59 社会活動、地域活動に参加したか（年代別）



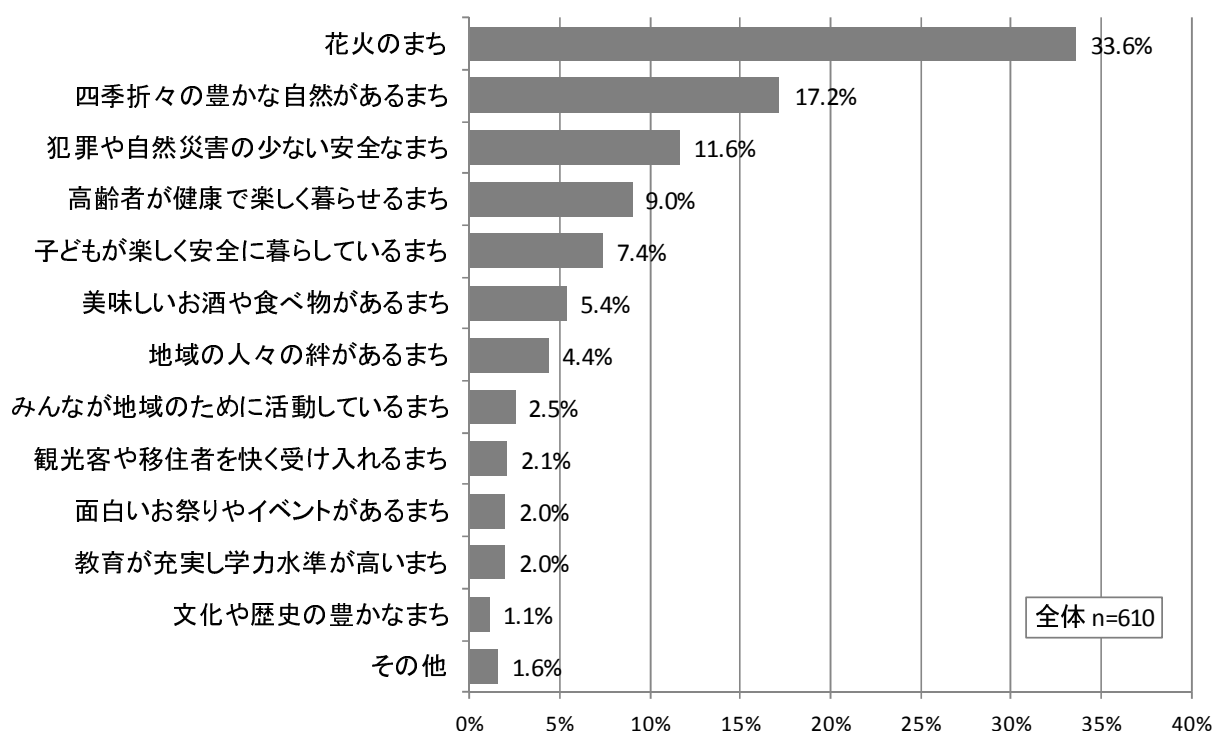
図表 60 社会活動、地域活動に参加したか（地域別）



2.6.4 未来のまちの姿に関する設問について

10年後、大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介していきたいか（回答は一つ）という設問に対して、「花火のまち」と回答した方が33.6%で突出して最も多く、次いで「四季折々の豊かな自然があるまち」が17.2%、「犯罪や自然災害の少ない安全なまち」が11.6%となっている。

図表 61 「大仙市」を知人へどのように紹介するか



■その他の回答

- 障がい者も安心して暮らせるまち（50代／女性／西仙北）
- 子育てに対する支援が手厚いまち（30代／男性／大曲）
- 地域に遊べる場所がたくさんある町（30代／男性／中仙）
- すべての市民が明るく健康に暮らしている町（60代／男性／大曲）
- 良くもなく悪くもなく便利な町（50代／男性／中仙）

2.7 経年比較

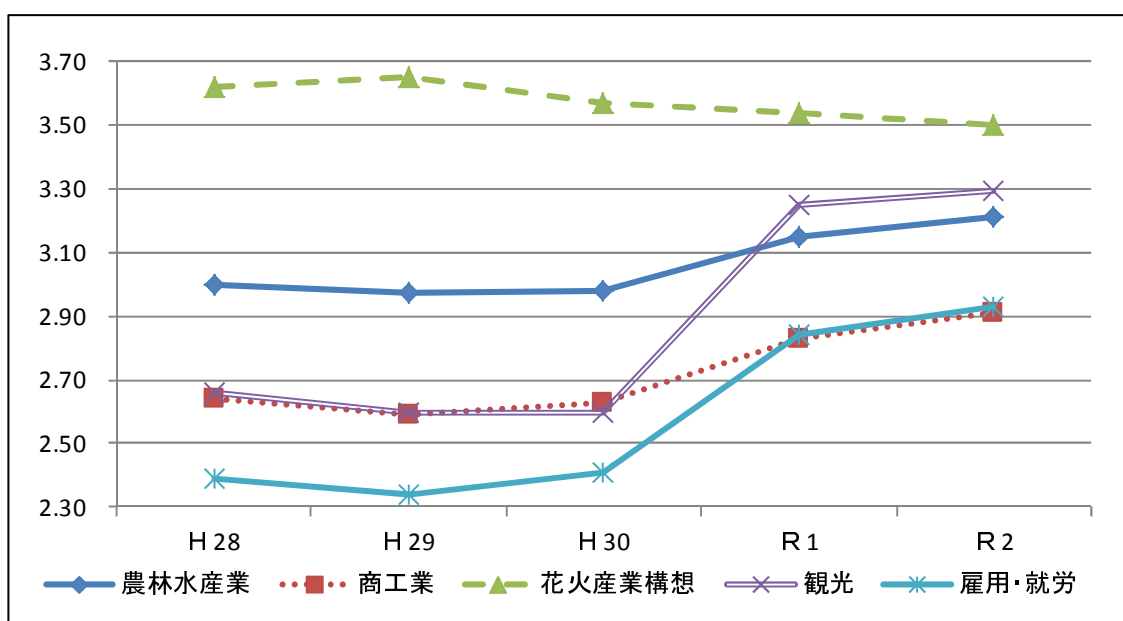
平成28年度から令和2年度までの過去5年間における満足度、重要度及び要望度についての推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての4年間の推移をまとめた。

なお、満足度、重要度については、平成27年までは大仙市総合計画基本計画、平成28年からは第2次大仙市総合計画基本構想に基づいた設問項目での調査となっているため、経年比較できない項目については「―」で示してある。

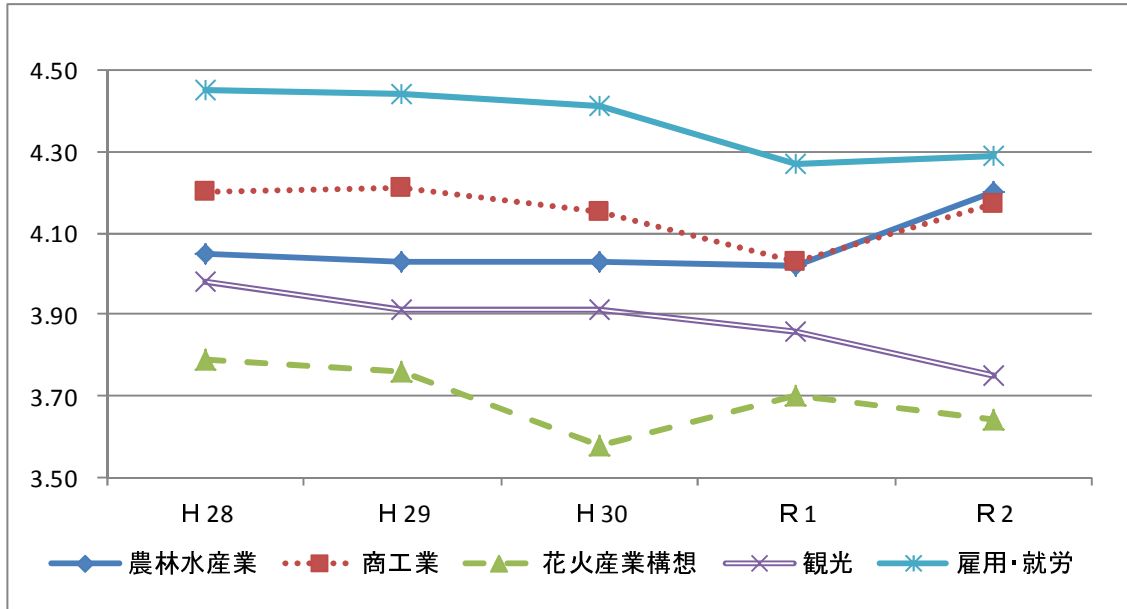
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度では、「花火産業構想」のみ減少傾向となっているが、それ以外近年は増加傾向となっている。重要度及び要望度は、全体的に横ばいまたは減少傾向となっているが、「農林水産業」と「商工業」についてはどちらも今年度は増加している。

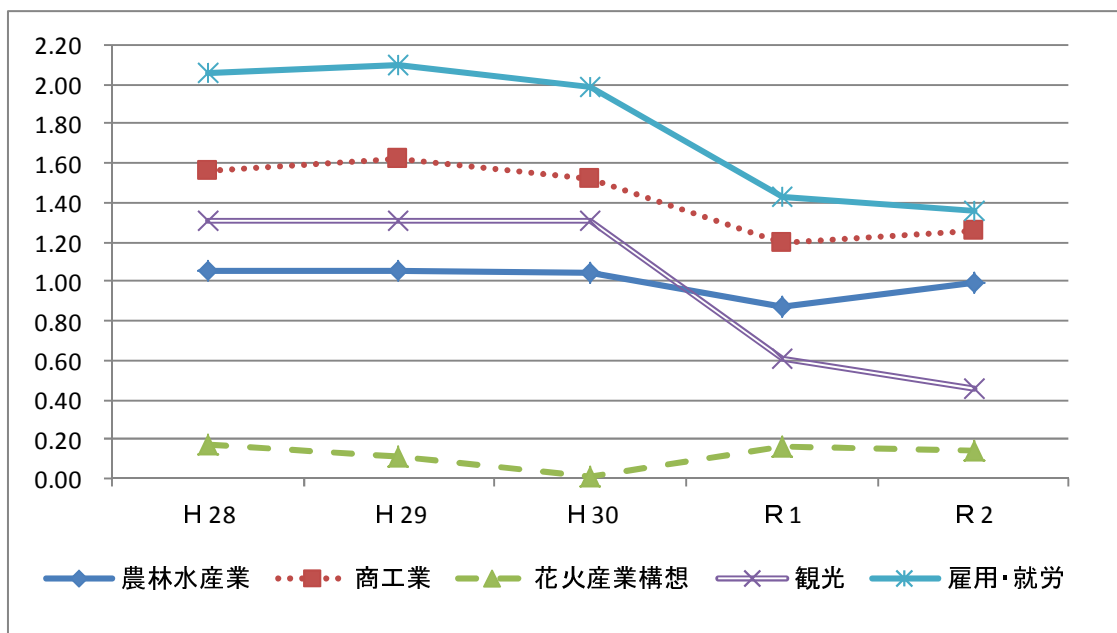
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
農林水産業	3.00	2.97	2.98	3.15	3.21
商工業	2.64	2.59	2.63	2.83	2.91
花火産業構想	3.62	3.65	3.57	3.54	3.50
観光	2.66	2.60	2.60	3.25	3.29
雇用・就労	2.39	2.34	2.41	2.84	2.93



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
農林水産業	4.05	4.03	4.03	4.02	4.20
商工業	4.20	4.21	4.15	4.03	4.17
花火産業構想	3.79	3.76	3.58	3.70	3.64
観光	3.98	3.91	3.91	3.86	3.75
雇用・就労	4.45	4.44	4.41	4.27	4.29



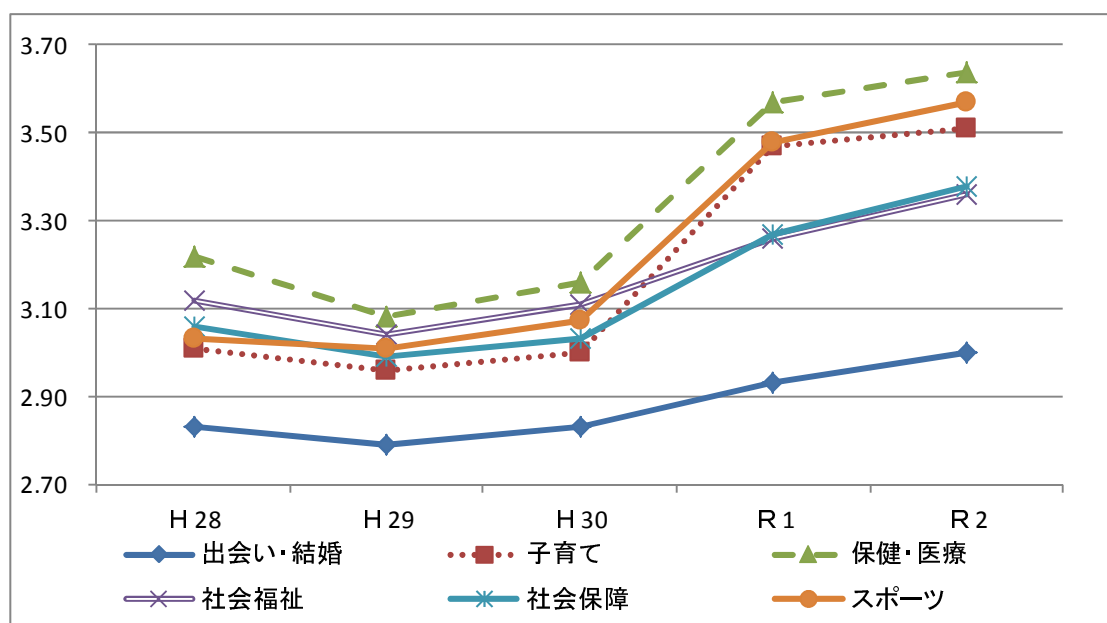
要望度	H28	H29	H30	R1	R2
農林水産業	1.05	1.06	1.04	0.87	0.99
商工業	1.56	1.62	1.52	1.20	1.26
花火産業構想	0.17	0.11	0.01	0.16	0.14
観光	1.31	1.31	1.31	0.61	0.46
雇用・就労	2.06	2.10	1.99	1.43	1.36



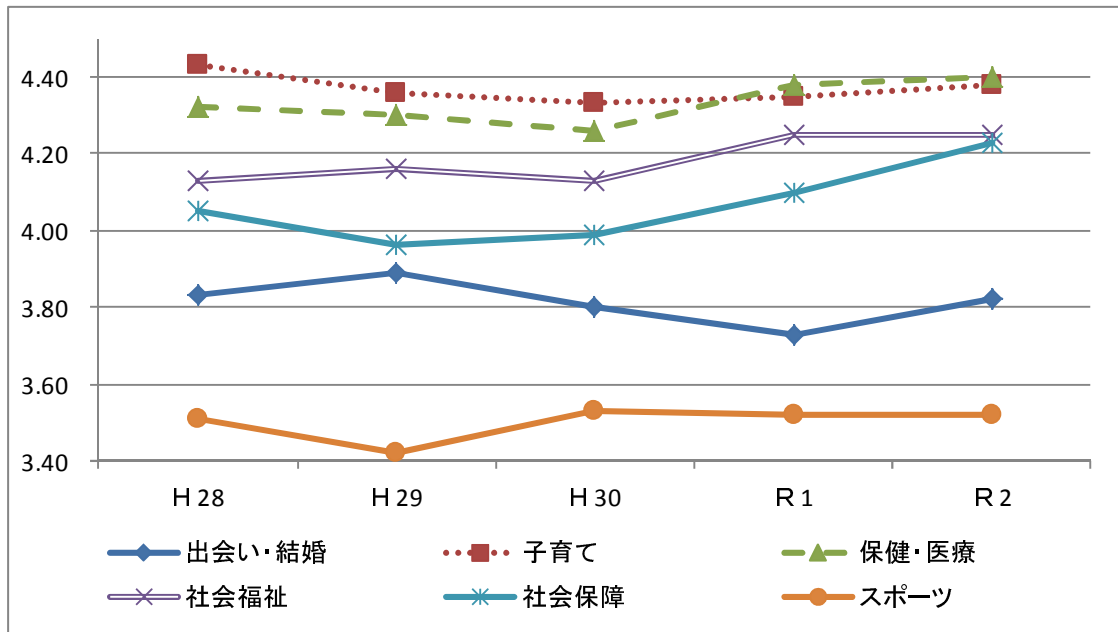
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は平成 29 年度からは毎年増加しており、重要度は横ばい、要望度は減少傾向となっている。また、満足度については、「出会い・結婚」以外は平成 30 年度以降大きく増加しているが、「出会い・結婚」は他に比べ緩やかな増加となっている。

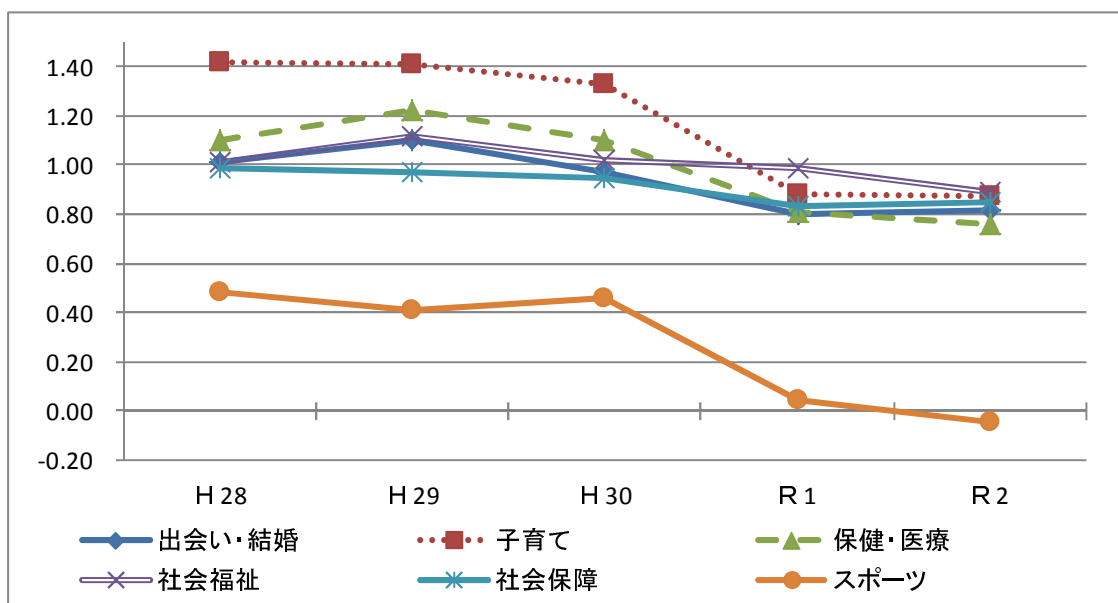
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
出会い・結婚	2.83	2.79	2.83	2.93	3.00
子育て	3.01	2.96	3.00	3.47	3.51
保健・医療	3.22	3.08	3.16	3.57	3.64
社会福祉	3.12	3.04	3.11	3.26	3.36
社会保障	3.06	2.99	3.03	3.27	3.38
スポーツ	3.03	3.01	3.07	3.48	3.57



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
出会い・結婚	3.83	3.89	3.80	3.73	3.82
子育て	4.43	4.36	4.33	4.35	4.38
保健・医療	4.32	4.30	4.26	4.38	4.40
社会福祉	4.13	4.16	4.13	4.25	4.25
社会保障	4.05	3.96	3.99	4.10	4.23
スポーツ	3.51	3.42	3.53	3.52	3.52



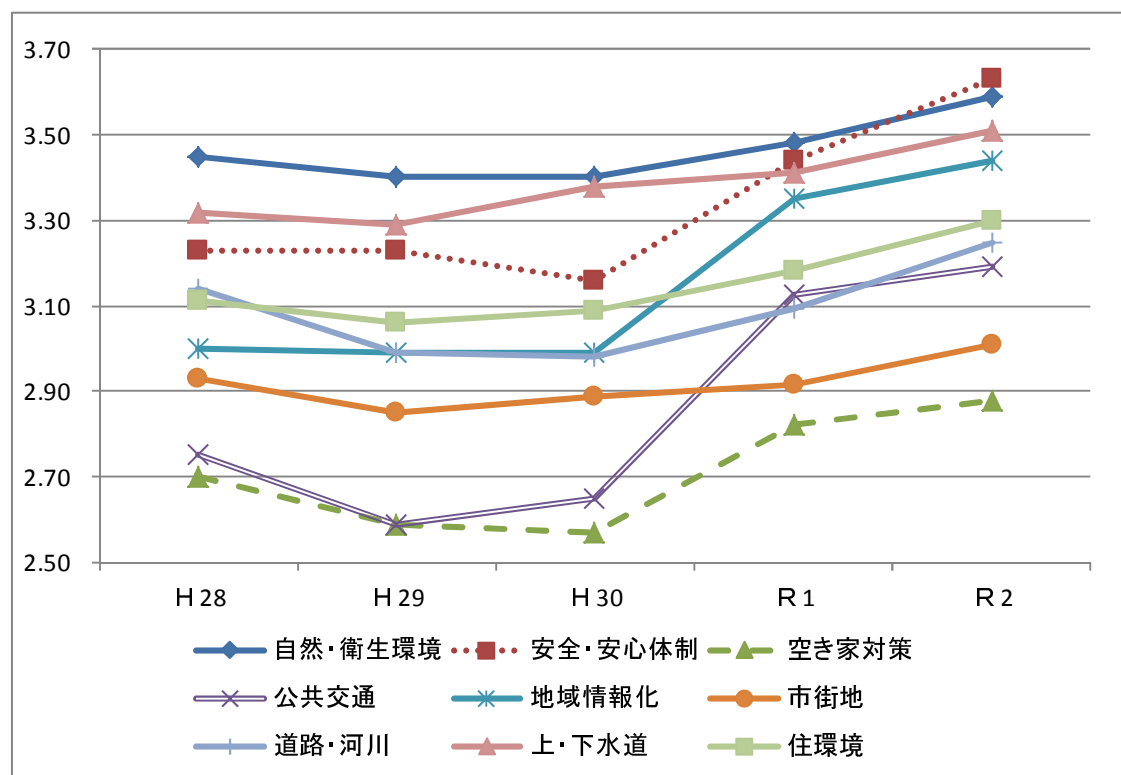
要望度	H28	H29	H30	R1	R2
出会い・結婚	1.01	1.10	0.97	0.80	0.82
子育て	1.42	1.41	1.33	0.88	0.87
保健・医療	1.10	1.22	1.10	0.81	0.76
社会福祉	1.01	1.12	1.02	0.99	0.89
社会保障	0.99	0.97	0.95	0.83	0.85
スポーツ	0.48	0.41	0.46	0.04	-0.05



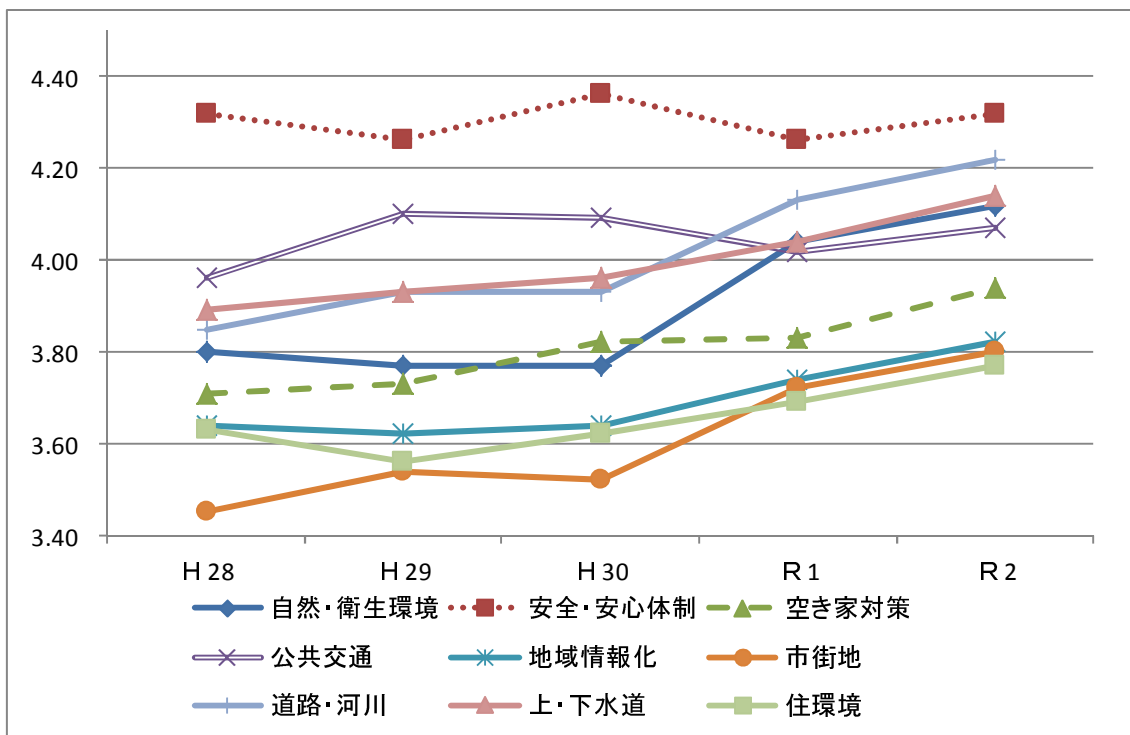
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は増加傾向となっており、平成30年度から大きく増加している。重要度も増加傾向であるが、「安全・安心体制」は横ばいとなっている。要望度は横ばいまたは減少傾向となっている項目が多いが、「自然・衛生環境」、「道路・河川」と「市街地」は増加傾向となっている。

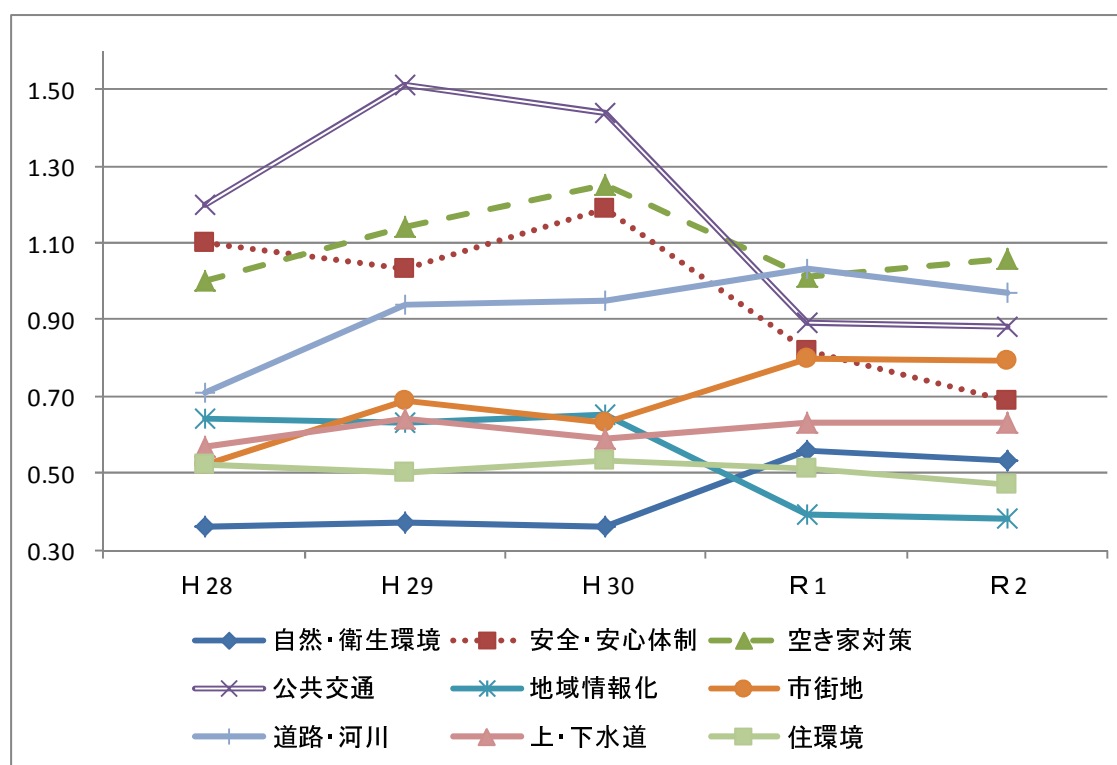
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
自然・衛生環境	3.45	3.40	3.40	3.48	3.59
安全・安心体制	3.23	3.23	3.16	3.44	3.63
空き家対策	2.70	2.59	2.57	2.82	2.88
公共交通	2.75	2.59	2.65	3.13	3.19
地域情報化	3.00	2.99	2.99	3.35	3.44
市街地	2.93	2.85	2.89	2.92	3.01
道路・河川	3.14	2.99	2.98	3.10	3.25
上・下水道	3.32	3.29	3.38	3.41	3.51
住環境	3.11	3.06	3.09	3.18	3.30



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
自然・衛生環境	3.80	3.77	3.77	4.04	4.12
安全・安心体制	4.32	4.26	4.36	4.26	4.32
空き家対策	3.71	3.73	3.82	3.83	3.94
公共交通	3.96	4.10	4.09	4.02	4.07
地域情報化	3.64	3.62	3.64	3.74	3.82
市街地	3.45	3.54	3.52	3.72	3.80
道路・河川	3.85	3.93	3.93	4.13	4.22
上・下水道	3.89	3.93	3.96	4.04	4.14
住環境	3.63	3.56	3.62	3.69	3.77



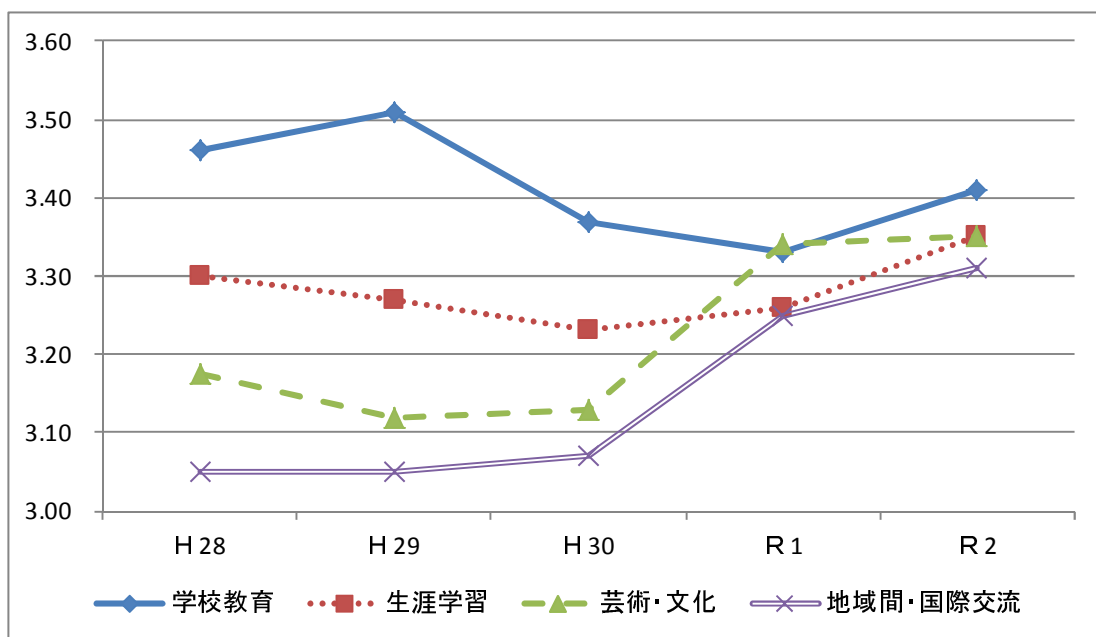
要望度	H28	H29	H30	R1	R2
自然・衛生環境	0.36	0.37	0.36	0.56	0.53
安全・安心体制	1.10	1.03	1.19	0.82	0.69
空き家対策	1.00	1.14	1.25	1.01	1.06
公共交通	1.20	1.51	1.44	0.89	0.88
地域情報化	0.64	0.63	0.65	0.39	0.38
市街地	0.52	0.69	0.63	0.80	0.79
道路・河川	0.71	0.94	0.95	1.03	0.97
上・下水道	0.57	0.64	0.59	0.63	0.63
住環境	0.52	0.50	0.53	0.51	0.47



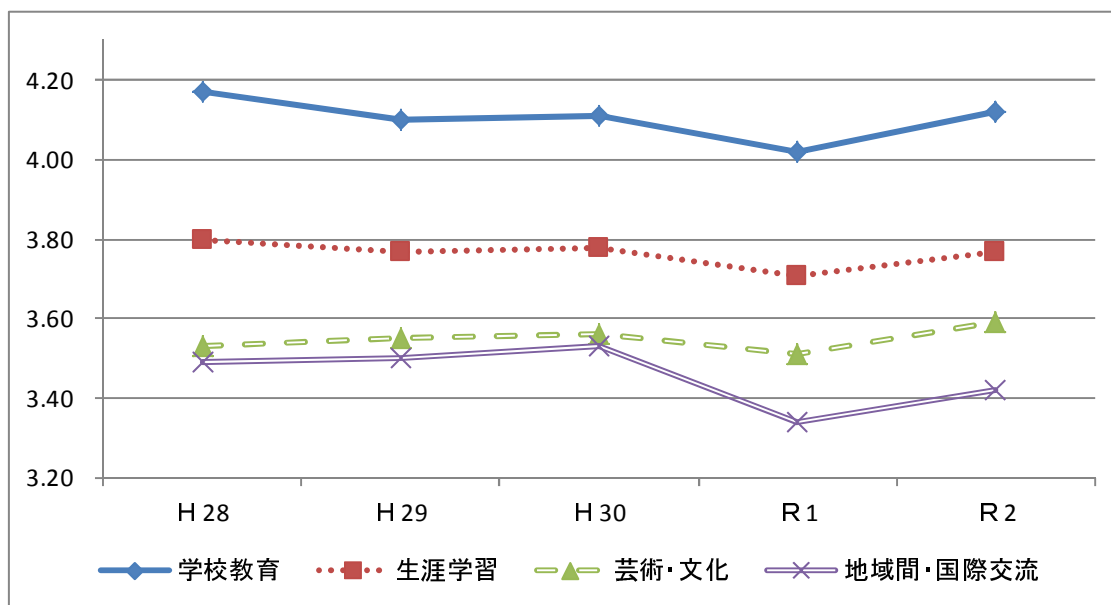
Ⅳ 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は平成30年度以降、増加又は横ばい傾向にあり、今年度は全項目増加している。重要度も今年度は全項目増加している。要望度は横ばいまたは減少傾向となっている。

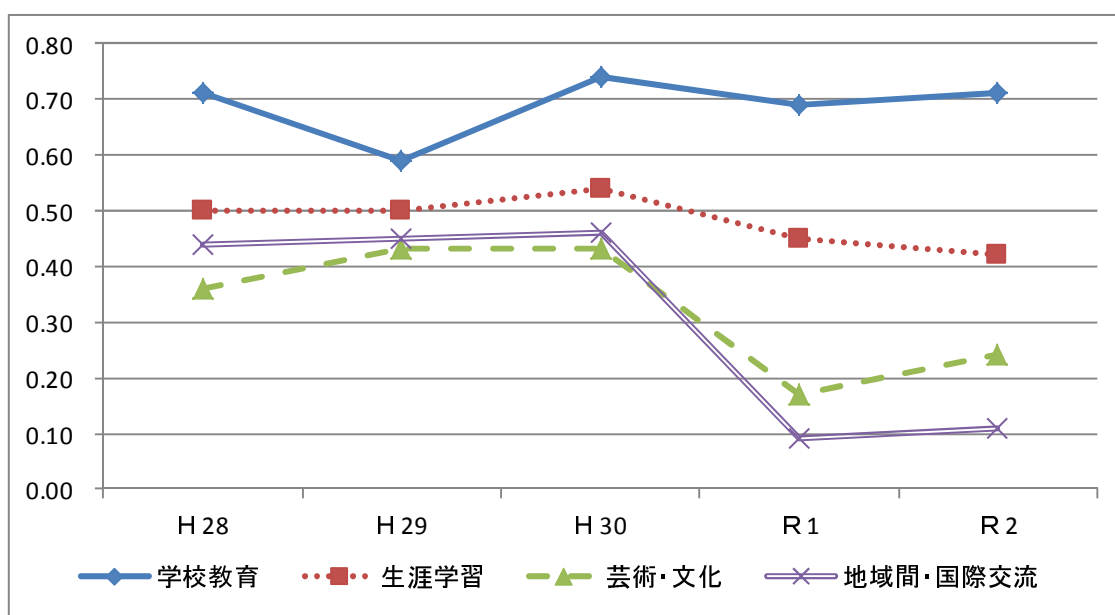
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
学校教育	3.46	3.51	3.37	3.33	3.41
生涯学習	3.30	3.27	3.23	3.26	3.35
芸術・文化	3.17	3.12	3.13	3.34	3.35
地域間・国際交流	3.05	3.05	3.07	3.25	3.31



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
学校教育	4.17	4.10	4.11	4.02	4.12
生涯学習	3.80	3.77	3.78	3.71	3.77
芸術・文化	3.53	3.55	3.56	3.51	3.59
地域間・国際交流	3.49	3.50	3.53	3.34	3.42



要望度	H28	H29	H30	R1	R2
学校教育	0.71	0.59	0.74	0.69	0.71
生涯学習	0.50	0.50	0.54	0.45	0.42
芸術・文化	0.36	0.43	0.43	0.17	0.24
地域間・国際交流	0.44	0.45	0.46	0.09	0.11

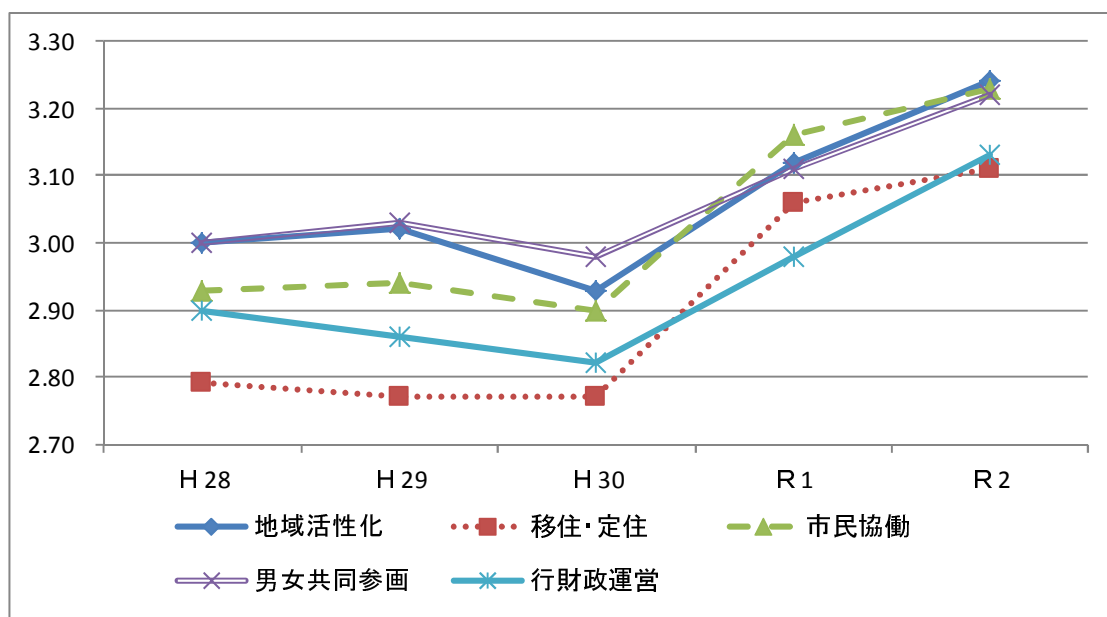


V 時代に合った地域を創ります！

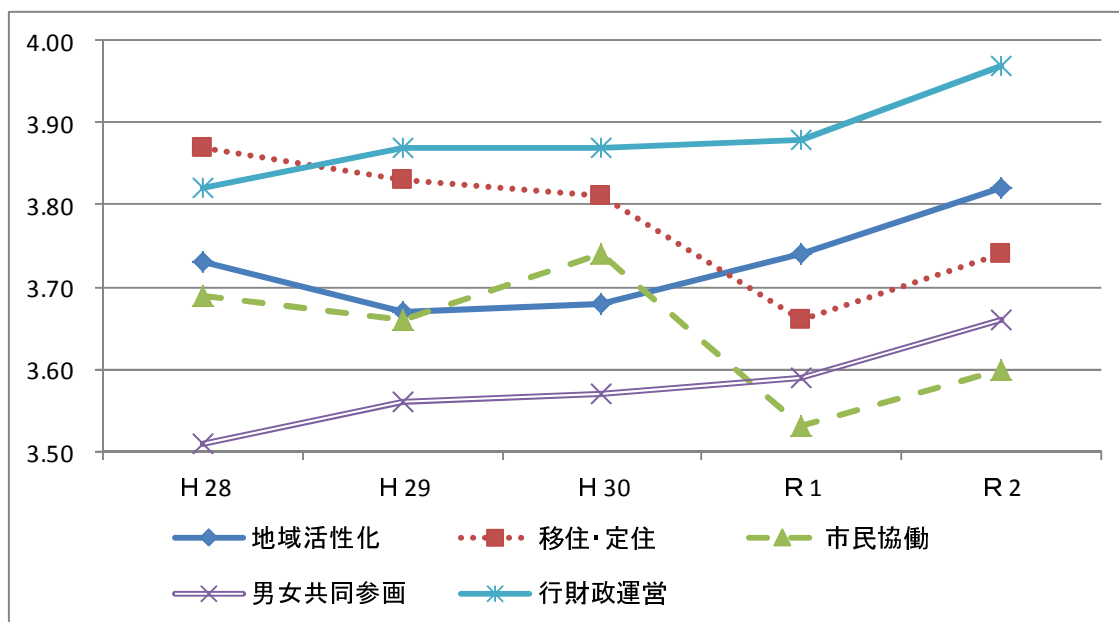
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は全項目で近年は増加傾向となっている。重要度は「移住・定住」、「市民協働」は減少傾向であったが、今年度は増加しており、それ以外は増加傾向となっている。要望度は「移住・定住」、「市民協働」は昨年度大きく減少したが、今年度は横ばいとなっている。それ以外は概ね横ばい傾向となっている。

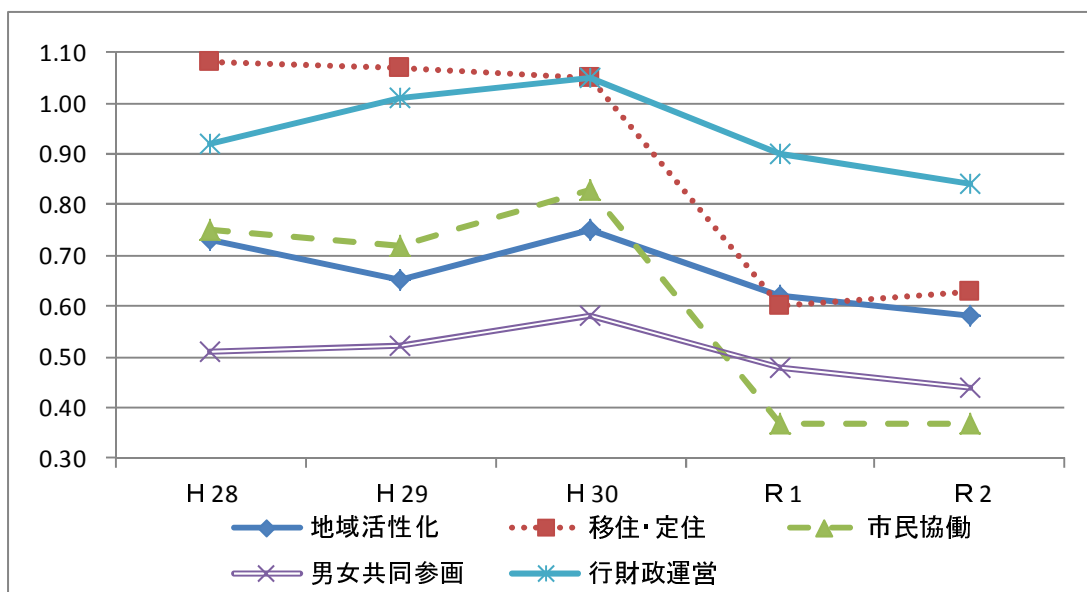
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
地域活性化	3.00	3.02	2.93	3.12	3.24
移住・定住	2.79	2.77	2.77	3.06	3.11
市民協働	2.93	2.94	2.90	3.16	3.23
男女共同参画	3.00	3.03	2.98	3.11	3.22
行財政運営	2.90	2.86	2.82	2.98	3.13



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
地域活性化	3.73	3.67	3.68	3.74	3.82
移住・定住	3.87	3.83	3.81	3.66	3.74
市民協働	3.69	3.66	3.74	3.53	3.60
男女共同参画	3.51	3.56	3.57	3.59	3.66
行財政運営	3.82	3.87	3.87	3.88	3.97



要望度	H28	H29	H30	R1	R2
地域活性化	0.73	0.65	0.75	0.62	0.58
移住・定住	1.08	1.07	1.05	0.60	0.63
市民協働	0.75	0.72	0.83	0.37	0.37
男女共同参画	0.51	0.52	0.58	0.48	0.44
行財政運営	0.92	1.01	1.05	0.90	0.84



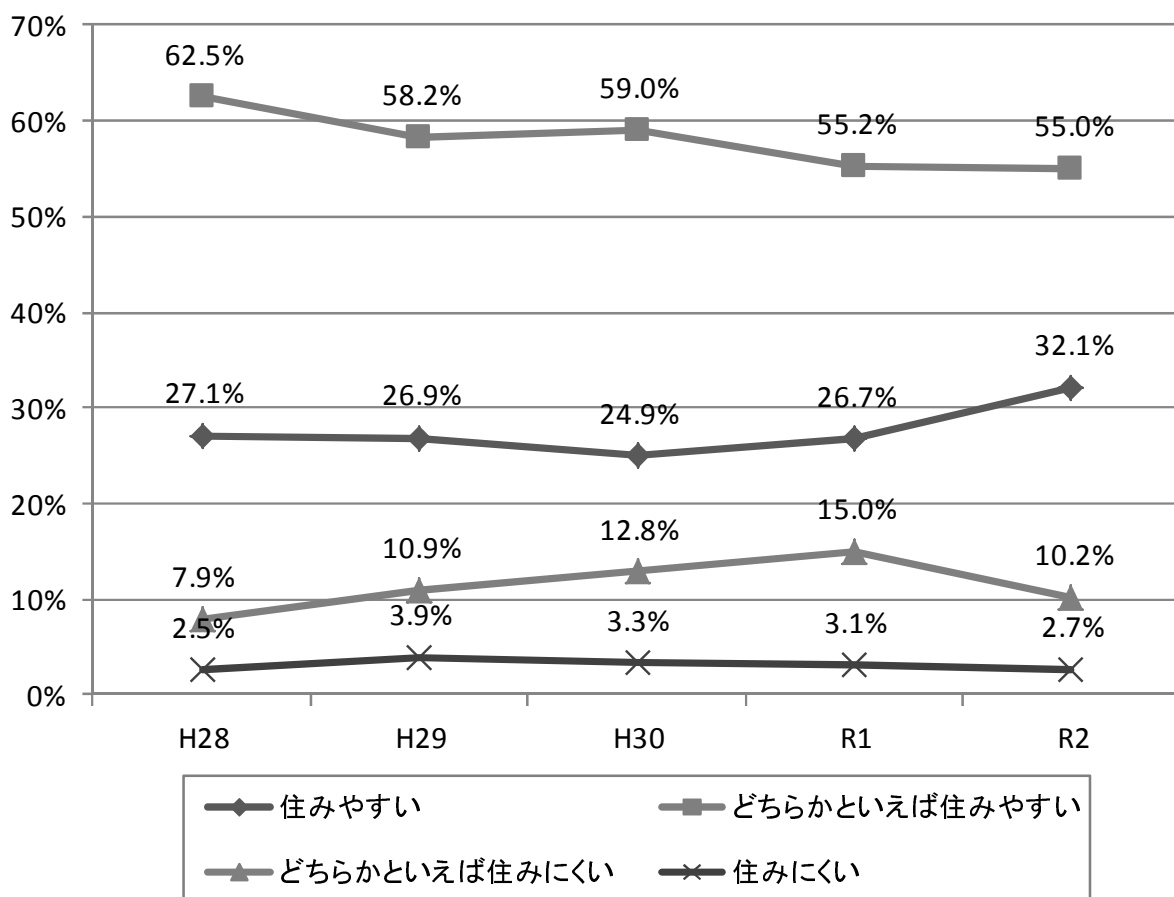
大仙市の住みやすさについて

「大仙市に住みやすいか」について

「住みやすい」は過去5年で最も大きい割合となっている。「どちらかといえば住みにくい」は増加傾向で推移していたが、今年度は減少している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30	R1	R2
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%	26.7%	32.1%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%	55.2%	55.0%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%	15.0%	10.2%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%	3.1%	2.7%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した



「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は減少傾向で推移していたが、今年度は大きく増加している。
「市内の他の場所へ移りたい」、「市外に移りたい」は増加傾向で推移していたが、今年度はどちらも減少している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30	R1	R2
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%	71.8%	75.2%
市内の別の場所へ移りたい	10.1%	12.4%	11.9%	14.0%	13.3%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%	10.4%	8.1%
住み続けたいが、移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%	3.8%	3.4%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した

